This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

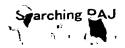
Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

This Page Blank (uspto)



MENU

SEARCH

INDEX

DETAIL

1/1





PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 11098477

(43)Date of publication of application: 09.04.1999

(51)Int.CI.

H04N 7/08 H04N 7/081 G06F 9/06 G06F 13/00 H04L 12/18 H04N 7/173 H04Q 9/00

(21)Application number: 09258127

(71)Applicant:

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22)Date of filing: 24.09.1997

(72)Inventor.

ARAI YUIKO

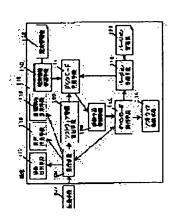
SUZUKI TAKAYUKI KARIBE TOMOYUKI SHINOHARA HIROKI HIKITA HIROYUKI

(54) SOFTWARE DOWN-LOAD SYSTEM

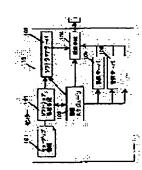
(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To revise the version of software of a terminal automatically by collating setup information integrated in a program guide and sent with a version management table managed by the terminal and down-loading only a required information.

SOLUTION: A reception means 108 receives data of a program schedule, a video image, an audio signal and a software, a software program extract means



109 extracts a software program, generates a software program list and gives the list to a download judgement means 111. The judgement means 111 collates a terminal management table 122 with the program and extracts a program whose terminal kind is coincident and stores the program. The judgement means 111 generates a down-load list by referencing the version management table 123 and gives the list to a program reservation management



means 120. Down-load program information is given to a down-load execution means 113 at a transmission start time to instruct down-loading, a file is down-loaded by a reception means 108 and stored in a software storage means 114 and the version management table 123 is updated.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

MENU SEARCH

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号

特開平11-98477

(43)公開日 平成11年(1999)4月9日

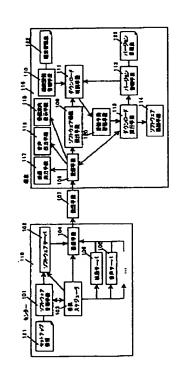
(51) Int.Cl.*		談別記号		FΙ				
H04N	7/08	•		H04N	7/08		Z	
	7/081			G06F	9/06		410Q	
G06F	9/06	410			13/00		351H	
	13/00	3 5 1		H04N	7/173			
H04L	12/18			H04Q	9/00		301E	
			審査請求	未請求請	求項の数1	B OL	(全 55 頁)	最終頁に続く
(21)出願番	号	特願平9-25812 7		(71)出版			株式会社	
(22)出願日		平成9年(1997)9月24日					大字門真100	06番地
				(72)発明	大阪	結子 6門真市 朱式会社		16番地 松下電器
				(72)発明	者 鈴木	孝幸		
						有門真市 朱式会社		6番地 松下電器
				(72)発明	月者 苅部	朋幸		
						有門真市 朱式会社		06番地 松下電器
				(74)代理	人 弁理:	上 滝本	智之の	外1名)
								最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ソフトウェアダウンロードシステム

(57)【要約】

【課題】 ソフトウェアダウンロードシステムにおいて、ユーザが意識しないで端末内のソフトウェアをダウンロードし、バージョンアップすることを目的とする。この際、ソフトウェアを構成するファイルのうち必要最低限のファイルのダウンロードだけで済むようにする。また、ソフトウェアを従来番組の構成要素として伝送して、番組として必要な時に時間を区切って伝送できるようにし、ソフトウェアの伝送帯域を減らすことを目的とする。

【解決手段】 ソフトウェア管理手段101が管理するセットアップ情報121を番組案内に組み込んでソフトウェアとともに伝送し、端末では端末情報管理手段110が管理する端末管理表122とパージョン管理手段112が管理するパージョン管理表123とセットアップ情報を照合することにより、ユーザが意識することなくソフトウェアのパージョンアップを行える。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 センターに、少なくともソフトウェアの バージョンを識別するセットアップ情報を番組案内に組 み込んでソフトウェアとともに端末へ送信する送信手段 を備え、端末に、少なくとも伝送されたセットアップ情 報と端末が管理するバージョン管理表を照合する手段を 備えたソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項2】 センターに、前記セットアップ情報を管 理するソフトウェア管理手段と、ソフトウェアを構成す るファイルを格納し、指示通りのスケジュールでファイ 10 ルを送出するソフトウェアサーバと、ソフトウェア管理 手段が管理するソフトウェアのセットアップ情報と番組 スケジュールから番組案内を生成する番組スケジューラ とを備え、番組スケジューラから受け取った番組案内を ソフトウェアとともに端末へ送信することを特徴とする 請求項1記載のソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項3】 端末に、センターから伝送されたセット アップ情報の中から自端末に対応するソフトウェアが伝 送されたソフトウェア番組を抽出する第1のソフトウェ りも新しいパージョンのソフトウェアを構成するファイ ルが伝送された番組を抽出しダウンロード一覧表を作成 するダウンロード判断手段を備えた請求項1記載のソフ トウェアダウンロードシステム。

【請求項4】 端末に、前記ダウンロード判断手段が出 力するダウンロード一覧表に記述されている番組の伝送 開始時刻になったとき当該番組に記述されたファイルの ダウンロードを指示する第1の番組予約管理手段と、と の番組予約管理手段から渡されるダウンロード番組情報 に記述してあるファイルをダウンロードし、ダウンロー 30 抽出手段をさらに備えたことを特徴とする請求項8記載 ドしたファイルの名前およびバージョンを前記バージョ ン管理表を管理するバージョン管理手段に通知するダウ ンロード実行手段とを備えたこと特徴とする請求項3記 載のソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項5】 伝送される番組のソフトウェアと前記バ ージョン管理表として端末に格納されたソフトウェアの バージョンを比較し、番組のソフトウェアのバージョン の方が新しいとき、ダウンロード判断手段が番組とソフ トウェアを構成するファイルのうち端末に格納されてい るファイルよりもバージョンの新しいファイルをダウン 40 ロードする番組およびファイルとして第1の番組予約管 理手段に渡すこと特徴とする請求項3または請求項4記 載のソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項6】 端末に、前記ダウンロード実行手段から ダウンロード番組情報とダウンロードの終了の連絡を受 け取り、ダウンロードの終了をセンターに通知するかど うかを判断するダウンロード終了連絡判断手段と、ダウ ンロード終了連絡判断手段がダウンロード終了を連絡す ると判断した場合には、端末を特定する端末のシリアル ナンバおよび前記ダウンロード終了連絡判断手段から受 50 定することを特徴とした請求項1、請求項3、請求項4

け取ったダウンロードを終了したソフトウェアの名前を 送信するダウンロード終了連絡送信手段とをさらに備え たことを特徴とする請求項1、請求項3、請求項4また は請求項5記載のソフトウェアダウンロードシステム。 【請求項7】 センターに、前記ダウンロード終了連絡 伝送手段が伝送した端末のシリアルナンバとダウンロー ドを終了したソフトウェアの名前を受信するダウンロー ド終了連絡受信手段と、ダウンロード終了連絡受信手段 が受信した端末のシリアルナンバとダウンロードを終了 したソフトウェアの名前およびソフトウェア管理手段が 管理するソフトウェアのセットアップ情報からソフトウ ェアのダウンロードが終了した端末のシリアルナンバを 管理するダウンロード管理表を生成するダウンロード管 理手段を備えたこと特徴とする請求項2または請求項6 記載のソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項8】 端末に、端末に受信した番組案内から端 末の種類と番組案内に記述された対応端末との照合結果 およびソフトウェア種別に従って表示する番組を抽出す る表示番組抽出手段をさらに備えたことを特徴とする請 ア番組抽出手段と、自端末に格納されたソフトウェアよ 20 求項1、請求項3、請求項4または請求項5記載のソフ トウェアダウンロードシステム。

> 【請求項9】 端末に、端末の受信手段から対応端末と ソフトウェア種別を含んだ番組案内を受け取り、番組案 内に記述された対応端末と自端末の種類が一致しない番 組とソフトウェア種別がシステムアプリケーションにな っていない番組を番組案内から削除し、対応端末と自端 末の種類が一致し、ソフトウェア種別がシステムアプリ ケーションになっている番組だけのソフトウェア番組一 覧表をダウンロード判断手段に渡す第2のソフトウェア のソフトウェアダウンロードシステム。

> 【請求項10】 ダウンロード判断手段は、第2のソフ トウェア番組抽出手段から渡されたソフトウェア番組一 覧表に記述されたソフトウェア番組で伝送されているソ フトウェアが端末内の現在のソフトウェアのバージョン よりも新しいと判断した場合には、それらのソフトウェ アの一覧をダウンロード一覧表として第1の番組予約管 理手段に渡し、ダウンロードの予約が完了したことを番 組案内表示手段に渡すことを特徴とする請求項8記載の ソフトウェアダウンロードシステム。

> 【請求項11】 端末に、番組の録画とダウンロードの 予約を番組予約表として管理する第2の番組予約管理手 段と、ソフトウェアをダウンロードする番組を決定する ソフトウェア番組決定手段をさらに備え、前記ソフトウ ェア番組決定手段は、第2の番組予約管理手段が管理す る番組予約表を参照し、現在の日時から最も近く、か つ、前記番組予約表に他の番組の録画およびダウンロー ドの予約が入っていない時間に放送されるソフトウェア 番組を、ソフトウェアをダウンロードする番組として決

3 または請求項5記載のソフトウェアダウンロードシステ

【請求項12】 端末に、前記ソフトウェア番組抽出手 段の管理するソフトウェア番組一覧表を参照して、利用 者にダウンロード可能なソフトウェア名の一覧を出力 し、かつ、利用者が選択したダウンロードの対象とする ソフトウェア名を受け取り、ソフトウェア名を持つソフ トウェア番組のみから構成されるダウンロード番組一覧 表をダウンロード判断手段に出力するソフトウェア選択 手段をさらに備え、利用者にソフトウェア番組の放送さ 10 れる時刻を意識させなくても利用者の選択したソフトウ ェアのダウンロードを可能とすることを特徴とした請求 項1、請求項3、請求項4または請求項5記載のソフト ウェアダウンロードシステム。

【請求項13】 端末に、第2の番組予約管理手段の管 理する番組予約表および新たに録画予約を行いたい番組 の情報が登録されており、前記第2の番組予約管理手段 に渡される番組録画一覧表を参照し、前記番組録画一覧 表に登録された番組の放送時間が、すでに前記番組予約 表にダウンロード予約として設定されているソフトウェ 20 ア番組の放送時間と重複する場合には、ソフトウェア番 組決定手段に対して、前記ソフトウェア番組と同一内容 で、かつ、放送時間が異なるソフトウェア番組を決定さ せる番組予約監視手段をさらに備えたこと特徴とする請 求項11記載のソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項14】 前記番組予約監視手段は、前記ソフト ウェア番組決定手段が新たなソフトウェア番組を決定で きた場合には、前記ソフトウェア番組を前記番組予約表 にダウンロード予約されていた放送時間が重複したソフ トウェア番組の代わりとして前記番組予約表に設定する 30 ように、前記番組予約管理手段に渡すことを特徴とした 請求項13記載のソフトウェアダウンロードシステム。 【請求項15】 センターに、ソフトウェアサーバから ソフトウェアを読み出し、あるソフトウェア通信プロト コルに従うようソフトウェアを加工し端末に伝送するた めの手段に出力する複数の送信プロトコル処理手段をさ らに備え、ソフトウェアを複数のソフトウェア通信プロ トコルで同時に複数の端末へ伝送することを特徴とする 請求項1、請求項2記載のソフトウェアダウンロードシ ステム。

【請求項16】 端末に、あるソフトウェア通信プロト コルの受信データからソフトウェアを取り出し出力する プロトコル処理手段と、プロトコル処理手段名と対応す るプロトコル名との組の一覧からなる対応プロトコルー 覧表を管理し受信時に使用するプロトコル処理手段を選 択してプロトコル処理を実行するプロトコル処理実行手 段と、番組で使用するソフトウェア通信プロトコル名で 対応プロトコル一覧表を検索しダウンロードが可能かど うかを判断するプロトコル判断手段をさらに備えたこと

項5記載のソフトウェアダウンロードシステム。

【請求項17】 センターに、各番組の視聴率を保持す る視聴率管理手段を備え、端末に、視聴中のチャンネル が含まれるトランスポートストリームを識別しソフトウ ェア番組を含むトランスポートストリームと一致するか どうか判定し一致した場合のみソフトウェア番組をダウ ンロード可能とするチャンネル検出手段をさらに備える ことを特徴とする請求項1または請求項2記載のソフト ウェアダウンロードシステム。

【請求項18】 端末に、ソフトウェアを更新した際に 更新前のソフトウェアの構成およびバージョンと更新後 のソフトウェアの構成およびパージョンをログとして保 存するバージョンログ管理手段をさらに備え、前記ダウ ンロード判断手段によりバージョンログ管理手段のログ から更新前のソフトウェアの構成情報を取得し、更新前 のバージョンのソフトウェアをダウンロードすることに より、ソフトウェアのバージョン復帰を行うことを特徴 とする請求項12記載のソフトウェアダウンロードシス テム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば通信衛星や 放送衛星を利用したデジタル放送によるソフトウェアダ ウンロードに関するものである。

[0002]

【従来の技術】最近、音声や動画をデジタル化し、衛星 を介して放送する放送システムが普及しつつある。伝送 がデジタル化されたことにより、音声や動画に加えて、 プログラムなども同様に放送し、受信機の蓄積装置に蓄 積することも可能となった。

【0003】従来、放送されたプログラムを受信し、受 信機側の蓄積装置内にプログラムを蓄積する方法として は、特開平8-195952号公報に記載されたものが知られて いる。

【0004】この特許について図100を用いて説明す る。アンテナ10001が電波を受信し、コンバータ1 0002に出力、コンバータ10002はアンテナ10 001が受信した電波の周波数を変換し、フロントエン ド10003に出力する。フロントエンド10003 40 は、コンバータ10002からの信号の復調、エラー訂 正を行ってトランスポートブロック10004に出力す る。トランスポートブロック10004は、フロントエ ンド10003からのデータをビデオデータ、オーディ オデータ、その他のデータに振り分ける。プログラムな どは、その他のデータであるコンディショナルアクセス データに含まれている。コンディショナルアクセスデー タは、【Cカードインタフェース10005を介して【 Cカード1005Aに送られ、ICカード1005Aは 受信したデータに対するアクセス権があるかどうかの判 を特徴とする請求項1、請求項3、請求項4または請求 50 定を行い、アクセス権がある、と判定した場合には暗号

解読のための鍵をトランスポートブロック10004に 渡す。トランスポートブロック10004は、この鍵を 使って暗号解読の処理を行う。トランスポートブロック 10004で振り分けられたビデオデータは、ビデオデ コーダ10010でデコード、NTSCエンコーダ10 012でエンコードされ、ビデオ出力される。同様に振 り分けられたオーディオデータは、オーディオデコーダ 10011でデコードされ、オーディオ出力される。ま た、コンディショナルアクセスデータに含まれるプログ ラムは、CPU10006によって、EEPROM10 10 009に転送され、記憶される。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この従 来技術の公開特許においては、ソフトウェア(プログラ ム) はコンディショナルアクセスデータに含まれてお り、常に放送しているため、帯域を無駄に使用すること になる。また、放送スケジュールを含む番組案内がない ため、利用者に番組案内を提示し、ダウンロードするソ フトウェアを選択させることができない。

【0006】本発明は、これらの課題を解決するもので 20 あり、番組案内にソフトウェアの放送スケジュールを挿 入することにより、必要なときだけ放送することを可能 とし放送帯域の無駄をなくす。また、ソフトウェアを構 成するファイルを番組の構成要素として、映像データや 音声データと同様に扱うことにより、ソフトウェアの放 送だけを目的とする番組案内は不要となる。また、ソフ トウェアとともにセットアップ情報を番組案内に組み込 んで伝送し、端末が管理するバージョン管理表と端末管 理表と伝送されたセットアップ情報を照合して、バージ ョンが上がっているものだけをダウンロードすることに 30 より、利用者が意識することなく端末のソフトウェアの バージョンアップを行うことが可能となる。

[0007]

【課題を解決するための手段】本願の第一の手段として は、ソフトウェアダウンロードシステムには、センター に、少なくともソフトウェアのバージョンを識別するセ ットアップ情報を番組案内に組み込んでソフトウェアと ともに端末へ送信する送信手段を備え、端末に、少なく とも伝送されたセットアップ情報と端末が管理するバー ジョン管理表を照合する手段を備えたことを特徴とす る。また、センターに、セットアップ情報を管理するソ フトウェア管理手段と、ソフトウェアを構成するファイ ルを格納し、指示通りのスケジュールでファイルを送出 するソフトウェアサーバと、ソフトウェア管理手段が管 理するソフトウェアのセットアップ情報と番組スケジュ ールから番組案内を生成する番組スケジューラとを備 え、番組スケジューラから受け取った番組案内をソフト ウェアとともに端末へ送信することを特徴とし、端末 に、センターから伝送されたセットアップ情報の中から

ア番組を抽出する第1のソフトウェア番組抽出手段と、 自端末に格納されたソフトウェアよりも新しいパージョ ンのソフトウェアを構成するファイルが伝送された番組 を抽出しダウンロード一覧表を作成するダウンロード判 断手段を備えたことを特徴とする。さらに、端末に、ダ ウンロード判断手段が出力するダウンロード一覧表に記 述されている番組の伝送開始時刻になったとき当該番組 に記述されたファイルのダウンロードを指示する第1の 番組予約管理手段と、この番組予約管理手段から渡され るダウンロード番組情報に記述してあるファイルをダウ ンロードし、ダウンロードしたファイルの名前およびバ ージョンをバージョン管理表を管理するバージョン管理 手段に通知するダウンロード実行手段とを備えたこと特 徴とし、伝送される番組のソフトウェアとバージョン管 理表として端末に格納されたソフトウェアのバージョン を比較し、番組のソフトウェアのバージョンの方が新し いとき、ダウンロード判断手段が番組とソフトウェアを 構成するファイルのうち端末に格納されているファイル よりもバージョンの新しいファイルをダウンロードする 番組およびファイルとして第1の番組予約管理手段に渡 すこと特徴とすること特徴とする。この発明によれば、 ソフトウェアの伝送を含む番組の番組案内を従来番組と 同じように扱えるため、ソフトウェア伝送専用のチャン ネルを用意せずに従来のチャンネルを使ってのソフトウ ェアの伝送が可能となった。これにより、番組として必 要な時に時間を区切って伝送することができるので、伝 送帯域が無駄にならない。また、センターがセットアッ プ情報を伝送し、端末がセットアップ情報と自身のバー ジョン管理表を比較し、バージョンが上がっているソフ トウェアを自動的にダウンロードすることにより、利用 者が意識することなく端末のソフトウェアのバージョン アップを行うことが可能となった。セットアップ情報と バージョン管理表では、ソフトウェアを構成するファイ ルのバージョンも管理しているため、必要最小限のファ イルだけをダウンロードするだけで良い。

【0008】本願の第二に手段としては、本願の第一の 手段に加え、端末に、ダウンロード実行手段からダウン ロード番組情報とダウンロードの終了の連絡を受け取 り、ダウンロードの終了をセンターに通知するかどうか 40 を判断するダウンロード終了連絡判断手段と、ダウンロ ード終了連絡判断手段がダウンロード終了を連絡すると 判断した場合には、端末を特定する端末のシリアルナン バおよびダウンロード終了連絡判断手段から受け取った ダウンロードを終了したソフトウェアの名前を送信する ダウンロード終了連絡送信手段とをさらに備えたことを 特徴とし、特に、センターに、ダウンロード終了連絡伝 送手段が伝送した端末のシリアルナンバとダウンロード を終了したソフトウェアの名前を受信するダウンロード 終了連絡受信手段と、ダウンロード終了連絡受信手段が 自端末に対応するソフトウェアが伝送されたソフトウェ 50 受信した端末のシリアルナンバとダウンロードを終了し

たソフトウェアの名前およびソフトウェア管理手段が管 理するソフトウェアのセットアップ情報からソフトウェ アのダウンロードが終了した端末のシリアルナンバを管 理するダウンロード管理表を生成するダウンロード管理 手段を備えたこと特徴とする。この発明によれば、セン ターはダウンロードの終了を把握する必要のあるソフト ウェアに関してはダウンロード終了連絡フラグを"要" に設定して、どの端末がダウンロードを終了したかを把 握できる。逆に、ダウンロードの終了を把握する必要が ないソフトウェアに関しては、ダウンロード終了連絡フ 10 ラグを"不要"にして、端末は通常のダウンロードを実 行する。センターは伝送するソフトウェアの重要度に応 じてダウンロード終了連絡フラグを設定でき、どうして もダウンロードが必要なソフトウェアをダウンロードし ていない端末の把握ができる。

【0009】本願の第三の手段としては、本願の第一の 手段に加え、端末に、端末に受信した番組案内から端末 の種類と番組案内に記述された対応端末との照合結果お よびソフトウェア種別に従って表示された番組を抽出す る表示番組抽出手段をさらに備えたこと特徴とし、さら 20 に、端末に、端末の受信手段から対応端末とソフトウェ ア種別を含んだ番組案内を受け取り、番組案内に記述さ れた対応端末と自端末の種類が一致しない番組とソフト ウェア種別がシステムアプリケーションになっていない 番組を番組案内から削除し、対応端末と自端末の種類が 一致し、ソフトウェア種別がシステムアプリケーション になっている番組だけのソフトウェア番組一覧表をダウ ンロード判断手段に渡す第2のソフトウェア抽出手段を さらに備えたことを特徴とする。また、ダウンロード判 断手段は、第2のソフトウェア番組抽出手段から渡され 30 たソフトウェア番組一覧表に記述されたソフトウェア番 組で伝送されているソフトウェアが端末内の現在のソフ トウェアのバージョンよりも新しいと判断した場合に は、それらのソフトウェアの一覧をダウンロード一覧表 として第1の番組予約管理手段に渡し、ダウンロードの 予約が完了したことを番組案内表示手段に渡すことを特 徴とする。この発明によれば、利用者にダウンロードを するかどうかの判断をさせたいソフトウェアのソフトウ ェア種別を"ユーザアプリケーション"に設定すること により、ソフトウェアを含むソフトウェア番組を利用者 40 に表示し、選択させることが可能になる。表示前にソフ トウェアが端末に対応しているかどうかのチェックも行 い、対応しているソフトウェアを伝送している番組だけ を表示するので、端末で動作しないソフトウェアの番組 を利用者が選択するような無駄な動作を減らすことがで きる。利用者も選択したソフトウェア番組によるダウン ロードの予約が完了したのか、すでにダウンロード済み なのかを知ることができる。逆に、利用者にダウンロー ドするかどうかを判断させず、セットアップ情報と端末 のパージョン管理表と端末管理表の照合による判断だけ 50 行うソフトウェア番組の伝送開始時刻を移動することが

でダウンロードさせたいソフトウェアについては、ソフ トウェア種別を"システムアプリケーション"に設定す ることにより、利用者にソフトウェア番組が伝送されて いることさえ気付かないようにさせることが可能とな

【0010】本願の第四の手段としては、本願の第一の 手段に加え、端末に、番組の録画とダウンロードの予約

を番組予約表として管理する第2の番組予約管理手段 と、ソフトウェアをダウンロードする番組を決定するソ フトウェア番組決定手段をさらに備え、ソフトウェア番 組決定手段は、第2の番組予約管理手段が管理する番組 予約表を参照し、現在の日時から最も近く、かつ、番組 予約表に他の番組の録画およびダウンロードの予約が入 っていない時間に放送されるソフトウェア番組を、ソフ トウェアをダウンロードする番組として決定することを 特徴とする。この発明によれば、端末によって現在の時 刻から最も近く、かつ、他の番組の録画およびダウンロ ードの予約が入っていない時間のソフトウェア番組から ソフトウェアをダウンロードすることが可能となる。 【0011】本願の第五の手段としては、本願の第一の 手段に加え、端末に、ソフトウェア番組抽出手段の管理 するソフトウェア番組一覧表を参照して、利用者にダウ ンロード可能なソフトウェア名の一覧を出力し、かつ、 利用者が選択したダウンロードの対象とするソフトウェ ア名を受け取り、ソフトウェア名を持つソフトウェア番 組のみから構成されるダウンロード番組一覧表をダウン ロード判断手段に出力するソフトウェア選択手段をさら に備え、利用者にソフトウェア番組の放送される時刻を 意識させなくても利用者の選択したソフトウェアのダウ ンロードを可能とすることを特徴とする。この発明によ れば、利用者はソフトウェア番組の放送時間を意識する ことなく、所望のソフトウェア名を入力することによ り、端末はソフトウェア名で示されるソフトウェアをソ フトウェア番組からダウンロードすることが可能とな

【0012】本願の第六の手段としては、本願の第四の 手段に加え、端末に、第2の番組予約管理手段の管理す る番組予約表および新たに録画予約を行いたい番組の情 報が登録されており、第2の番組予約管理手段に渡され る番組録画一覧表を参照し、番組録画一覧表に登録され た番組の放送時間が、すでに番組予約表にダウンロード 予約として設定されているソフトウェア番組の放送時間 と重複する場合には、ソフトウェア番組決定手段に対し て、ソフトウェア番組と同一内容で、かつ、放送時間が 異なるソフトウェア番組を決定させる番組予約監視手段 をさらに備えたこと特徴とする。この発明によれば、端 末は、新たに録画予約を行う番組の放送時間が、すでに ダウンロード予約されているソフトウェア番組の放送時 刻と重複した場合にも、可能な限りダウンロード予約を

でき、新たな録画予約と矛盾することなくソフトウェア 番組からのダウンロードを実現することが可能となる。 【0013】本願の第七の手段としては、本願の第一の 手段に加え、センターに、ソフトウェアサーバからソフ トウェアを読み出し、あるソフトウェア通信プロトコル に従うようソフトウェアを加工し端末に伝送するための 手段に出力する複数の送信プロトコル処理手段をさらに 備え、ソフトウェアを複数のソフトウェア通信プロトコ ルで同時に複数の端末へ伝送することを特徴とする。と の発明によれば、複数ソフトウェア通信プロトコルで同 10 時に同じソフトウェア番組を送信することが可能とな る。また、対応するソフトウェア通信プロトコルを増や す場合には、センターはそのプロトコル用のプロトコル 処理手段と送信手段のみを新たに追加すればよい。

【0014】本願の第八の手段としては、本願の第一の 手段に加え、端末に、あるソフトウェア通信プロトコル の受信データからソフトウェアを取り出し出力するプロ トコル処理手段と、プロトコル処理手段名と対応するプ ロトコル名との組の一覧からなる対応プロトコル一覧表 を管理し受信時に使用するプロトコル処理手段を選択し 20 てプロトコル処理を実行するプロトコル処理実行手段 と、番組で使用するソフトウェア通信プロトコル名で対 応プロトコル一覧表を検索しダウンロードが可能かどう かを判断するプロトコル判断手段をさらに備えたことを 特徴とする。この発明によれば、プロトコル処理手段を ソフトウェアダウンロード番組で放送することにより、 端末が対応するソフトウェア通信プロトコルを追加する ことができる。

【0015】本願の第九の手段としては、本願の第一の 手段に加え、センターに、各番組の視聴率を保持する視 30 聴率管理手段を備え、端末に、視聴中のチャンネルが含 まれるトランスポートストリームを識別しソフトウェア 番組を含むトランスポートストリームと一致するかどう か判定し一致した場合のみソフトウェア番組をダウンロ ード可能とするチャンネル検出手段をさらに備えること を特徴とする。この発明によれば、視聴率が高い番組と 同じ時間に同じトランスポートストリーム内にソフトウ ェアダウンロード番組を放送するように放送スケジュー ルを編成することにより、ソフトウェアがダウンロード される確率を高くすることができる。

【0016】本願の第十の手段としては、本願の第五の 手段に加え、端末に、ソフトウェアを更新した際に更新 前のソフトウェアの構成およびバージョンと更新後のソ フトウェアの構成およびバージョンをログとして保存す るバージョンログ管理手段をさらに備え、ダウンロード 判断手段によりバージョンログ管理手段のログから更新 前のソフトウェアの構成情報を取得し、更新前のバージ ョンのソフトウェアをダウンロードすることにより、ソ フトウェアのバージョン復帰を行うことを特徴とする。 この発明によれば、利用者がバージョン復帰を指定する「50」ら構成するファイルのバージョンを含む)とソフトウェ

とソフトウェアの更新前の構成のバージョンのものをダ ウンロードして更新前のバージョンに復帰することによ り、新しいバージョンに更新したことによって不具合が 生じた場合等には更新前のバージョンに復帰することで 不具合を取り除くことができる。

[0017]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態につい て、図1から図99を用いて説明する。

【0018】 (実施の形態1)図1は、本発明による第 1のソフトウェアダウンロードシステムを示し、図1に おいて、101はソフトウェアサーバ102に格納され ているソフトウェアとソフトウェアのセットアップ情報 121 (ソフトウェアの名前とソフトウェアが対応する 端末の種類とソフトウェアのバージョンを識別するバー ジョン番号とソフトウェアを構成するファイルの名前と それら構成するファイルのそれぞれのバージョンを含 む)を関連付けて管理するソフトウェア管理手段、10 2はソフトウェアを構成するファイルを格納し、指示通 りのスケジュールでファイルを送出するソフトウェアサ ーバ、103は日付、チャンネル、伝送開始時刻、伝送 終了時刻、番組名、番組の構成要素、番組で伝送するソ フトウェア名を含む番組スケジュールを管理し、ソフト ウェア管理手段101が管理するソフトウェアのセット アップ情報121と番組スケジュールから番組案内を生 成、送信手段104にこれを送出し、ソフトウェアサー バ102、映像サーバ105、音声サーバ106に対し て番組スケジュール通りにそれぞれファイル、映像デー タ、音声データを送出するよう指示する番組スケジュー ラ、104は番組スケジューラ103から受け取った番 組案内とソフトウェアサーバ102からのファイルと映 像サーバ105からの映像データと音声サーバ106か らの音声データを送信する送信手段、105は映像デー タを格納し、番組スケジューラ 103からの指示に従っ て映像データを送出する映像サーバ、106は音声デー タを格納し、番組スケジューラ103からの指示に従っ て音声データを送出する音声サーバ、107は送信手段 104から送信された番組案内と映像データと音声デー タとファイルを伝送する伝送手段、108は伝送手段1 07が伝送する番組案内と映像データと音声データとフ ァイルを受信する受信手段、109は受信手段108が 受信した番組案内の中からソフトウェアの伝送を含むソ フトウェア番組だけを抽出し、ソフトウェア番組一覧表 を生成してダウンロード判断手段111に渡すソフトウ ェア番組抽出手段、110は端末管理表122(端末の 種類を含む)を管理する端末情報管理手段、111は端 末情報管理手段110が管理する端末情報とパージョン 管理手段112が管理するバージョン管理表123(端 末に格納されているソフトウェアの名前とそれらのバー ジョン、ソフトウェアを構成するファイルの名前とそれ

ア番組抽出手段109から渡されるソフトウェア番組一 覧表を照合し、自端末に対応するソフトウェアが伝送さ れているソフトウェア番組を抽出し、その中から自端末 に格納されているソフトウェアよりも新しいバージョン のソフトウェアとそのソフトウェアを構成するファイル とそのソフトウェア、ファイルが伝送されている番組を 抽出してダウンロード一覧表を生成し、それを番組予約 管理手段120に渡すダウンロード判断手段、112は バージョン管理表123を管理するバージョン管理手 ンロード番組情報(番組を伝送する日付、チャンネル、 番組名、ソフトウェア名、ソフトウェアのバージョン、 ダウンロードするファイルの名前とバージョンを含む) に記述してあるファイルをダウンロードし、そのファイ ルをソフトウェア格納手段114に渡し、ダウンロード したファイルの名前とバージョン、ファイルが構成する ソフトウェアの名前とバージョンをバージョン管理手段 112に通知するダウンロード実行手段、114はダウ ンロード実行手段113から渡されたファイルを格納す 段101、ソフトウェアサーバ102、番組スケジュー ラ103、送信手段104、映像サーバ105、音声サ ーバ106、ソフトウェア管理手段101が管理するセ ットアップ情報121を含むセンターであり、116は 受信手段108、ソフトウェア番組抽出手段109、端 末情報管理手段110、ダウンロード判断手段111、 バージョン管理手段112、ダウンロード実行手段11 3、ソフトウェア格納手段114、映像出力手段11 7. 音声出力手段118、番組案合表示手段119、番 する端末管理表122、バージョン管理手段112が管 理するバージョン管理表123を含む端末である。11 7は受信手段108が受信した映像データを映像として 出力する映像出力手段、118は受信手段108が受信 した音声データを音声として出力する音声出力手段、1 19は受信手段108が受信した番組案内を表示する番 組案内表示手段、120はダウンロード判断手段111 が出力するダウンロード一覧表を受け取り、ダウンロー ド一覧表に記述されている番組の伝送開始時刻になった ら、ダウンロード実行手段113に対してダウンロード 40 番組情報を渡し、ダウンロード番組情報に記述されたフ ァイルのダウンロードを指示する番組予約管理手段、1 21はソフトウェア管理手段101が管理するセットア ップ情報、122は端末情報管理手段110が管理する 端末管理表、123はパージョン管理手段112が管理

11

【0019】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、以下その動作を説明する。 【0020】映像サーバ105、音声サーバ106、ソ フトウェアサーバ102はそれぞれ図25、図26、図 50 バ106、ソフトウェアサーバ102に対してそれぞれ

するバージョン管理表を示す。

27に示すような映像データ、音声データ、ファイルを 管理している。

【0021】番組スケジューラ103には、図2に示す ような番組スケジュールが存在している。名前が「朝の ニュース」である番組は伝送チャンネルが1、伝送開始 時刻が97年6月25日の6:00、終了時刻が97年 6月25日の7:00、番組を構成する要素は映像サー バが管理する映像データである映像1と音声サーバが管 理する音声データである音声1、番組はソフトウェアを 段、113は番組予約管理手段120から渡されるダウ 10 含んでいないのでソフトウェア名はない。名前が「朝の ダウンロード」である番組は開始時刻が7:30、終了 時刻が8:00、番組を構成する要素はソフトウェアサ ーバが管理するファイルであるファイル1とファイル 5、ソフトウェア名は「CA」である。他の番組につい ても同様である。

【0022】図3は、ソフトウェア管理手段101が管 理しているソフトウェアのセットアップ情報121であ る。名前が「CA」であるソフトウェアのバージョンは 7、対応する端末の種類は「M」、ソフトウェアを構成 るソフトウェア格納手段、115はソフトウェア管理手 20 するファイルはファイル1とファイル5でそれぞれのフ ァイルのバージョンは3、4である。構成するファイル のバージョンとソフトウェア全体としてのバージョンが 別々に存在している。構成するファイルのうち一つでも バージョンが上がった(バージョンの数値が大きくなっ た)ものがあれば、ソフトウェア全体のバージョンも上 がる。「OS」、「DSMCC」についても同様であ

【0023】番組スケジューラ103は、自身が管理す る番組スケジュール(図2)にソフトウェア管理手段1 組予約管理手段120、端末情報管理手段110が管理 30 01が管理するセットアップ情報121を挿入し、番組 案内を生成する。番組スケジュール(図2)内でソフト ウェア名が付いている番組がソフトウェアを伝送するソ フトウェア番組であるので、セットアップ情報121 (図3) のうちそれぞれ「CA」、「OS」の名前がつ いているチャンネル1の「朝のダウンロード」、チャン ネル2の「ダウンロードA」についてのセットアップ情 報を追加する。まず「朝のダウンロード」についてであ るが、名前が「CA」であるので、図3のセットアップ 情報の中から「CA」のバージョン、対応端末、構成要 素であるファイルのバージョンを抜き出し、番組案内の 項目として追加する。「ダウンロードA」についても同 様の処理を行う。この結果生成された番組案内は、図4 のようなものである。ソフトウェア番組でない番組につ いては、構成要素のバージョン、ソフトウェア名、ソフ トウェアのバージョン、対応端末は存在しないので(な し)になっている。番組スケジューラはこの番組案内 (図4)を送信手段104に渡す。

> 【0024】また、番組スケジューラ103は図2の番 組スケジュールに従って、映像サーバ105、音声サー

映像データ、音声データ、ファイルを送信手段104に流すよう指示を出す。例えば、図2の番組スケジュールに依ると、番組名「朝のニュース」である番組の伝送開始時刻は97年6月25日の6:00、伝送終了時刻は97年6月25日の7:00であるので、構成要素である映像1と音声1を97年6月25日の6:00から97年6月25日の7:00にチャンネル1として送信手段104に流すよう映像サーバ105と音声サーバ106に指示する。他の番組ついても同様である。映像サーバ105、音声サーバ106、ソフトウェアサーバ10102は指示された時刻に指示された構成要素を送信手段104に流す。

13

【0025】送信手段104は、番組スケジューラ103から渡される番組案内と映像サーバ105、音声サーバ106、ソフトウェアサーバ102から渡される映像データ、音声データ、ファイルを伝送手段107に送り、伝送手段107は受信手段108に渡す。

【0026】受信手段108は、受け取ったものが映像データであればそれを映像出力手段117に、音声データであればそれを音声出力手段118、番組案内であれ 20ば番組案内表示手段119とソフトウェア番組抽出手段109にそれを渡す。ファイルであった場合には、指示された場合にだけダウンロード実行手段113に渡す(詳細については後述)。映像出力手段117は受け取った映像データを映像として出力、音声出力手段118は受け取った音声データを音声として出力する。番組案内表示手段119は受け取った番組案内を例えば図13のように表示する。

【0027】ソフトウェア番組抽出手段109は、受け取った番組案内の中からソフトウェア番組だけを抽出し、ソフトウェア番組一覧表を作成する。ソフトウェア番組かどうかは、ソフトウェア名がついているかどうかで判断できる。番組案内が図4のようなときには、図7のようなソフトウェア番組一覧表が作成され、ソフトウェア番組抽出手段109はこのソフトウェア番組一覧表をダウンロード判断手段111に渡す。

【0028】ダウンロード判断手段111は、まず端末情報管理手段110が管理する端末管理表122(図5)の端末の種類とダウンロード番組一覧表(図7)の対応端末の項目を照合し、端末の種類が一致している番40組だけを抜き出す。この処理の流れについて図8を用いて説明する。最初に、すべての番組についてソフトウェアの対応端末と自身の端末の種類が一致するものがあるかどうかを調べる(ステップ801)。この場合、図5の端末管理表122から分かるように端末の種類はMであり、図7のソフトウェア番組一覧表のうち対応端末がMであるのは番組名が「朝のダウンロード」である番組である。この例では一致する番組は一つだけであるが、複数ある場合にはすべて抽出し、その番組の情報(日付、チャンネル、伝送開始時刻、伝送終了時刻、番組50

名、構成要素のファイルの名前、ファイルのバージョ ン、番組で伝送しているソフトウェア名、ソフトウェア のバージョンを含む)をダウンロードする番組の候補と して記憶する(ステップ802)。対応端末の項目は以 後不要であるので取り除く。記憶したものは、図9のよ うになり、これについてダウンロード判断手段111 は、パージョン管理手段112が管理するパージョン管 理表123と照合し、ダウンロードする番組の一覧であ るダウンロード一覧表を作成する。図6は、バージョン 管理手段112が管理するバージョン管理表123であ る。この表によると、端末には「CA」、「OS」、 「DSMCC」という名前のソフトウェアが格納されて いて、それぞれのバージョンが6、6、5であることが 分かる。また、それぞれのソフトウェアを構成するファ イルの名前とパージョンも分かる。ダウンロード一覧表 生成の処理の流れについて図10を用いて説明する。ダ ウンロード判断手段111は、図8の処理によって抽出 された候補番組(図9)のすべてについて、その番組の ソフトウェアと端末に格納されている同じソフトウェア のバージョンを比較する (ステップ1001)。 図9の 候補番組「朝のダウンロード」のソフトウェアの名前は 「CA」であり、そのバージョンは7である。一方、図 6のパージョン管理表123にあるように端末に格納さ れている「CA」のバージョンは6であるので、番組の ソフトウェアの方が端末にあるソフトウェアよりもパー ジョンの数値が新しいことが分かる。次に、この番組の ソフトウェア「CA」を構成するファイルについてそれ ぞれのバージョンを端末のバージョン管理表123(図 6) と比較する (ステップ1002)。 ダウンロードの 候補(図9)では、ソフトウェア「CA」を構成するフ ァイル1とファイル5のバージョンはそれぞれ3と4で ある。一方、図6のバージョン管理表123にあるよう に、端末に格納されている「CA」を構成するファイル 1とファイル5のバージョンはそれぞれ2と4である。 ファイル5のバージョンは一致しているが、ファイル1 のバージョンの数値はダウンロードの候補(図9)にあ るものの方が大きいので、ファイル1の情報(ファイル 名とバージョン)と「CA」という名前のソフトウェア を伝送している番組の情報(チャンネル、日付、伝送開 始時刻、伝送終了時刻、番組名、番組で伝送しているソ フトウェア名、ソフトウェアのバージョン)をダウンロ ードするファイル、番組として記憶する(ステップ10 03)。この実施例では番組は一つだけであるが、複数 あった場合にはすべての番組について同様の比較を行 う。このような処理を行った結果、図11のようなダウ ンロード一覧表が生成され、ダウンロード判断手段11 1はこのダウンロード一覧表を番組予約管理手段120 に渡す。図11から分かるように、同じ番組の同じソフ トウェアを構成しているファイルでもダウンロードの必 50 要がないファイル (この場合、ファイル5) はダウンロ

ード一覧表には含まれていない。

【0029】番組予約管理手段120は、ダウンロード 一覧表に記述されている伝送開始時刻になったら、チャ ンネル、ダウンロードするファイルを伝送しているソフ トウェア番組の番組名、ダウンロードするファイルの名 前、バージョン、ファイルが構成しているソフトウェア 名、ソフトウェアのバージョンを含むダウンロード番組 情報をダウンロード実行手段113に渡し、ファイルを ダウンロードするよう指示する。ダウンロード一覧表が 図11のようであった場合には、図91のようなダウン 10 ロード番組情報が番組予約管理手段120からダウンロ ード実行手段113に渡される。

15

【0030】番組予約管理手段120からダウンロード 番組情報とダウンロードの指示を受け取ったダウンロー ド実行手段113はダウンロード番組情報にあるファイ ルを受信手段108からダウンロードし、ダウンロード したファイルをソフトウェア格納手段114に渡す。ソ フトウェア格納手段114は受け取ったファイルを格納 する。

了したら、ダウンロード実行手段113はダウンロード したファイルの名前とそのバージョンとファイルを含む ソフトウェアの名前、ソフトウェアのバージョンをバー ジョン管理手段112に伝える。 ダウンロード一覧表が 図11のような場合には、ファイルの名前「ファイル 1」とバージョン「3」、ソフトウェアの名前「CA」 とバージョン「7」を伝える。こらを伝えられたバージ ョン管理手段112は、バージョン管理表123を更新 する。ダウンロード前は図6のようであったバージョン 管理表123は、図12のようになる。「CA」のバー ジョンが6から7に、「CA」を構成するファイル1の バージョンが2から3に更新されている。

【0032】以上のように、本実施の形態では、ソフト ウェアサーバ102に格納されているソフトウェアとソ フトウェアのセットアップ情報121(ソフトウェアの 名前とソフトウェアが対応する端末の種類とソフトウェ アのバージョンを識別するバージョン番号とソフトウェ アを構成するファイルの名前とそれら構成するファイル のそれぞれのバージョンを含む)を関連付けて管理する ソフトウェア管理手段101と、ソフトウェアを構成す るファイルを格納し、指示通りのスケジュールでファイ ルを送出するソフトウェアサーバ102と、日付、チャ ンネル、伝送開始時刻、伝送終了時刻、番組名、番組の 構成要素、番組で伝送するソフトウェア名を含む番組ス ケジュールを管理し、ソフトウェア管理手段101が管 理するソフトウェアのセットアップ情報121と番組ス ケジュールから番組案内を生成、送信手段104にこれ を送出し、ソフトウェアサーバ102、映像サーバ10 5、音声サーバ106に対して番組スケジュール通りに それぞれファイル、映像データ、音声データを送出する 50 理手段112、ダウンロード実行手段113、ソフトウ

よう指示する番組スケジューラ103と、番組スケジュ ーラ103から受け取った番組案内とソフトウェアサー バ102からのファイルと映像サーバ105からの映像 データと音声サーバ106からの音声データを送信する 送信手段104と、映像データを格納し、番組スケジュ ーラ103からの指示に従って映像データを送出する映 像サーバ105と、音声データを格納し、番組スケジュ ーラ103からの指示に従って音声データを送出する音 声サーバ106と、送信手段104から送信された番組 案内と映像データと音声データとファイルを伝送する伝 送手段107と、伝送手段107が伝送する番組案内と 映像データと音声データとファイルを受信する受信手段 108と、受信手段108が受信した番組案内の中から ソフトウェアの伝送を含むソフトウェア番組だけを抽出 し、ソフトウェア番組一覧表を生成してダウンロード判 断手段111に渡すソフトウェア番組抽出手段109 と、端末管理表122(端末の種類を含む)を管理する 端末情報管理手段110と、端末情報管理手段110が 管理する端末管理表122とパージョン管理手段112 【0031】ダウンロードの実行とファイルの格納が終 20 が管理するバージョン管理表123(端末116に格納 されているソフトウェアの名前とそれらのバージョン、 ソフトウェアを構成するファイルの名前とそれら構成す るファイルのバージョンを含む)とソフトウェア番組抽 出手段109から渡されるソフトウェア番組一覧表を照 合し、自端末に対応するソフトウェアが伝送されている ソフトウェア番組を抽出し、その中から自端末に格納さ れているソフトウェアよりも新しいバージョンのソフト ウェアとそのソフトウェアを構成するファイルとそのソ フトウェア、ファイルが伝送されている番組を抽出して ダウンロード一覧表を生成し、それを番組予約管理手段 120に渡すダウンロード判断手段111と、パージョ ン管理表123を管理するバージョン管理手段112 と、番組予約管理手段120から渡されるダウンロード 番組情報(番組を伝送する日付、チャンネル、番組名、 ソフトウェア名、ソフトウェアのバージョン、ダウンロ ードするファイルの名前とバージョンを含む)に記述し てあるファイルをダウンロードし、そのファイルをソフ トウェア格納手段114に渡し、ダウンロードしたファ イルの名前とバージョン、ファイルが構成するソフトウ ェアの名前とバージョンをバージョン管理手段112に 通知するダウンロード実行手段113と、ダウンロード 実行手段113から渡されたファイルを格納するソフト ウェア格納手段114と、ソフトウェア管理手段10 1、ソフトウェアサーバ102、番組スケジューラ10 3、送信手段104、映像サーバ105、音声サーバ1 06、ソフトウェア管理手段101が管理するセットア ップ情報121を含むセンター115と、受信手段10 8、ソフトウェア番組抽出手段109、端末情報管理手 段110、ダウンロード判断手段111、バージョン管

ェア格納手段114、映像出力手段117、音声出力手 段118、番組案合表示手段119、番組予約管理手段 120、端末情報管理手段110が管理する端末管理表 122、バージョン管理手段112が管理するバージョ ン管理表123を含む端末116と、受信手段108が 受信した映像データを映像として出力する映像出力手段 117と、受信手段108が受信した音声データを音声 として出力する音声出力手段118と、受信手段108 が受信した番組案内を表示する番組案内表示手段119 と、ダウンロード判断手段111が出力するダウンロー ド一覧表を受け取り、ダウンロード一覧表に記述されて いる番組の伝送開始時刻になったら、ダウンロード実行 手段113に対してダウンロード番組情報を渡し、ダウ ンロード番組情報に記述されたファイルのダウンロード を指示する番組予約管理手段120を備えることによ り、ソフトウェアの伝送を含む番組の番組案内を従来番 組と同じように扱えるため、ソフトウェア伝送専用のチ ャンネルを用意せずに従来のチャンネルを使ってのソフ トウェアの伝送が可能となった。これにより、番組とし て必要な時に時間を区切って伝送することができるの で、伝送帯域が無駄にならない。また、センター115 がセットアップ情報121を伝送し、端末116がセッ トアップ情報121と自身の端末管理表122とバージ ョン管理表123を比較し、自端末に対応していてバー ジョンが上がっているソフトウェアを自動的にダウンロ ードすることにより、利用者が意識することなく端末の ソフトウェアのバージョンアップを行うことが可能とな った。セットアップ情報121とバージョン管理表12 3では、ソフトウェアを構成するファイルのバージョン も管理しているため、必要最小限のファイルだけをダウ ンロードするだけで良い。

17

【0033】(実施の形態2)図14は、本発明におけ る第2のソフトウェアダウンロードシステムの構成を示 す図である。図14において、101から123につい ては実施の形態1における図1と同様のものである。1 401はダウンロード実行手段113からダウンロード 番組情報とダウンロードの終了の連絡を受け取り、ダウ ンロードの終了をセンター115に通知するかどうかを 判断するダウンロード終了連絡判断手段、1402はダ ウンロード終了連絡判断手段1401がダウンロード終 40 了を連絡すると判断した場合には、端末を一意に識別す る端末のシリアルナンバを端末情報管理手段110から 受け取り、ダウンロードを終了したソフトウェアの名前 をダウンロード終了連絡判断手段1401から受け取っ て、端末のシリアルナンバとダウンロードを終了したソ フトウェアの名前を送信するダウンロード終了連絡送信 手段、1403は端末のシリアルナンバとダウンロード を終了したソフトウェアの名前をダウンロード終了連絡 送信手段1402から受け取って伝送するダウンロード 終了連絡伝送手段、1404はダウンロード終了連絡伝 50

送手段1403が伝送した端末のシリアルナンバとダウンロードを終了したソフトウェアの名前を受信するダウンロード終了連絡受信手段、1405はダウンロード終了連絡受信手段1404が受信した端末のシリアルナンバとダウンロードを終了したソフトウェアの名前と、ソフトウェア管理手段101が管理するソフトウェアのセットアップ情報121からソフトウェアのダウンロードが終了した端末のシリアルナンバを管理するダウンロード管理表を生成するダウンロード管理手段を示す。

10 【0034】以上のように構成されたソフトウェアダウンロードシステムについて、以下その動作を説明する。【0035】図15は、本実施の形態におけるソフトウェア管理手段101が管理するソフトウェアのセットアップ情報121を示すものである。実施の形態1のセットアップ情報121(図3)に、各ソフトウェアについてダウンロード終了連絡が必要かどうかのフラグ(ダウンロード終了連絡が必要かどうかのフラグ(ダウンロード終了連絡が必要なもの、"不要"になっているソフトウェアはダウンロードが終了しても端末からのダウンロード終了連絡が必要なもの、"不要"になっているソフトウェアはダウンロードが終了したときに端末からのダウンロード終了連絡が不要なものである。また、端末情報管理手段110は端末の種類だけでなく、図18に示すように端末のシリアルナンバも管理している。

【0036】番組スケジューラ103は、実施の形態1 と同様にダウンロード終了連絡フラグも番組案内に挿入 する。番組案内は図16のようなものになる。ソフトウ ェア番組でない番組のダウンロード終了連絡フラグは (なし)になっており、この番組案内は、番組スケジュ ーラ103から送信手段104、伝送手段107を通じ て受信手段108に渡される。映像サーバ105の映像 データ、音声サーバ106の音声データ、ソフトウェア サーバ102のファイルも実施の形態1と同じように送 信手段104に渡され、送信手段104から伝送手段1 07へ、伝送手段107から受信手段108に渡され る。映像出力手段117への映像出力、音声出力手段1 18への音声出力、番組案内表示手段119での番組案 内の表示も同様である。受信手段108からソフトウェ ア番組抽出手段109に番組案内が渡されてソフトウェ ア番組だけが抽出され、ダウンロード判断手段111が ダウンロード一覧表 (図17)を作成、番組予約管理手 段120にダウンロード一覧表が渡され、番組予約管理 手段120がダウンロード一覧表に記述された伝送開始 時刻になったら、図92のようなダウンロード番組情報 をダウンロード実行手段113に渡してダウンロードを 指示し、ダウンロード実行手段113がダウンロードを 実行するまでも、ダウンロード終了連絡フラグが付いて いることを除けば実施の形態1と同様である。ダウンロ ードが終了すれば、ダウンロード実行手段113はソフ トウェア格納手段114にファイルを渡し、ソフトウェ ア格納手段114はファイルを格納する。また、ダウン ロード実行手段113からダウンロードしたファイルの 名前とそのバージョンとファイルを含むソフトウェアの 名前、バージョンを受け取ったバージョン管理手段11 2はバージョン管理表123を更新する。そして、ダウ ンロード実行手段113はダウンロードが終了したと き、ダウンロード番組情報とダウンロードの終了をダウ ンロード終了連絡判断手段1401に渡す。ダウンロー ド終了連絡判断手段1401は、ダウンロード番組情報 のダウンロード終了連絡フラグが"要"になっていた場 10 合には、ダウンロード送信手段1401にそのソフトウ ェアの名前を渡す。ソフトウェアの名前を受け取ったダ ウンロード終了連絡送信手段1402は、端末情報管理 手段110から端末のシリアルナンバを受け取り、ソフ トウェアの名前と伴にダウンロード終了連絡伝送手段1 403に渡す。ダウンロード終了連絡伝送手段1403 はソフトウェアの名前と端末のシリアルナンバをダウン ロード終了連絡受信手段1404に伝送し、ダウンロー F終了連絡受信手段1404は、受け取ったソフトウェ アの名前と端末のシリアルナンバをダウンロード管理手 20 段1405に渡す。ダウンロード管理手段1405は、 受け取ったソフトウェアの名前と端末のシリアルナンバ とソフトウェア管理手段101が管理するソフトウェア のセットアップ情報121からダウンロード管理表を生 成する。「CA」という名前のソフトウェアをシリアル ナンバ「12345」の端末がダウンロードした場合に は、図19に示すように、ソフトウェア名「CA」のダ ウンロードに成功した端末のシリアルナンバとして「1 2345」が表に入る。同じようにソフトウェアをダウ ンロードした他の端末のシリアルナンバも表に入ってい 30 る。また、他のソフトウェアについても同様にダウンロ ードした端末のシリアルナンバが表に入る。

19

【0037】以上のように、本実施の形態では、ダウン ロード実行手段113からダウンロード番組情報とダウ ンロードの終了の連絡を受け取り、ダウンロードの終了 をセンターに通知するかどうかを判断するダウンロード 終了連絡判断手段1401と、ダウンロード終了連絡判 断手段1401がダウンロード終了を連絡すると判断し た場合には、端末を一意に識別する端末のシリアルナン バを端末情報管理手段110から受け取り、ダウンロー ドを終了したソフトウェアの名前をダウンロード終了連 絡判断手段1401から受け取って、端末のシリアルナ ンバとダウンロードを終了したソフトウェアの名前を送 信するダウンロード終了連絡送信手段1402と、端末 のシリアルナンバとダウンロードを終了したソフトウェ アの名前をダウンロード終了連絡送信手段1402から 受け取って伝送するダウンロード終了連絡伝送手段14 03と、ダウンロード終了連絡伝送手段1403が伝送 した端末のシリアルナンバとダウンロードを終了したソ フトウェアの名前を受信するダウンロード終了連絡受信 50 ア種別が"システムアプリケーション"になっているソ

手段1404と、ダウンロード終了連絡受信手段140 4が受信した端末のシリアルナンバとダウンロードを終 了したソフトウェアの名前と、ソフトウェア管理手段1 01が管理するソフトウェアのセットアップ情報121 からソフトウェアのダウンロードが終了した端末のシリ アルナンバを管理するダウンロード管理表を生成するダ ウンロード管理手段1405を備えることにより、セン ター115はダウンロードの終了を把握する必要のある ソフトウェアに関してはダウンロード終了連絡フラグ を"要"に設定して、どの端末がダウンロードを終了し たかを把握できる。逆に、ダウンロードの終了を把握す る必要がないソフトウェアに関しては、ダウンロード終 了連絡フラグを"不要"にして、端末116は通常のダ ウンロードを実行する。センター115は伝送するソフ トウェアの重要度に応じてダウンロード終了連絡フラグ を設定でき、どうしてもダウンロードが必要なソフトウ ェアをダウンロードしていない端末の把握ができる。 【0038】また、本実施の形態ではソフトウェアごと にダウンロード終了連絡フラグを設定しただけであった が、ソフトウェアどとにダウンロード終了を連絡する端 末を指定(端末のシリアルナンバが1~1000のも の、端末のシリアルナンバの下二桁が30のもの、な ど) して、一部の端末からだけダウンロード終了を送信

了したかが判明する。 【0039】(実施の形態3)図20は、本発明におけ る第3のソフトウェアダウンロードシステムの構成を示 す図である。図20において、101から123につい ては実施の形態1における図1と同様のものである。2 001は、受信手段108が受信した番組案内のうち番 組案内表示手段119で表示する番組を、端末情報管理 手段110から受け取る端末の種類と番組案内に記述さ れた対応端末との照合結果と、ソフトウェア種別(詳細 は後述)に従って抽出する表示番組抽出手段である。

することが可能となる。このような場合には、ダウンロ

ードが終了した端末の数を正確に把握することはできな

いが、ダウンロード終了送信のトラフィックを減らし、

全端末のうちどれくらいの割合の端末がダウンロード終

【0040】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、以下その動作を説明する。 【0041】図21は、本実施の形態におけるソフトウ ェア管理手段101が管理するソフトウェアのセットア ップ情報 121を示すものである。実施の形態1のセッ トアップ情報121(図3)に、ソフトウェア種別が追 加されている。ソフトウェア種別とは、ソフトウェアを 番組案内表示手段119で表示するかどうかを示すもの で、ソフトウェア種別が"ユーザアプリケーション"に なっているソフトウェアを伝送するソフトウェア番組は 番組案内表示手段119で表示され、利用者がダウンロ ードするかどうかを選択することができる。ソフトウェ フトウェアを伝送するソフトウェア番組は番組案内表示手段119で表示されず、利用者は伝送されていることさえ気付かない。実施の形態1の説明で示したように、端末情報管理手段110の管理する端末管理表122とパージョン管理手段112が管理するバージョン管理表123との照合によって、ダウンロードするかどうかを決定する。

21

【0042】番組スケジューラ103は、実施の形態1 と同様にソフトウェア種別も番組案内に挿入する。番組 案内は例えば図22に示すようなものとなる。ソフトウ 10 ェア番組でない番組についてはソフトウェア種別は(な し) になっている。との番組案内は、実施の形態 1 と同 様に受信手段108まで送られる。映像データ、音声デ ータ、ファイルについても実施の形態1と同様である。 【0043】実施の形態1では受信手段108からその まま番組案内表示手段119に番組案内が渡っていた が、本実施の形態では、一旦表示番組抽出手段2001 に渡される。表示番組抽出手段2001は受け取った番 組案内のうち、ソフトウェア種別が"システムアプリケ ーション"になっている番組を取り除く。図22では、 名前が「ダウンロードA」である番組のソフトウェア種 別が"システムアプリケーション"になっているので取 り除かれる。次に、端末情報管理手段110から端末管 理表122の端末の種類を受け取って、それと対応端末 とが一致しない番組を取り除く。端末管理表122の端 末の種類が図5のように「M」であった場合には、対応 端末が「M]以外の番組を取り除く。図22では名前が 「ダウンロードしましょ!」である番組の対応端末は 「P」であり「M」と一致しないので取り除かれる。結 果、「ダウンロードA」と「ダウンロードしましょ!」 が取り除かれて図24のような番組案内になる。これが 番組案内表示手段2001に渡され、番組案内に従って 図23のように番組案内が表示される。利用者がダウン ロードするか判断できない番組(ソフトウェア種別が" システムアプリケーション"である番組)と端末に対応 していないソフトウェアを伝送している番組は表示され ないことになる。利用者はこの画面でダウンロードした い番組を予約することができる。「朝のダウンロード」 が網掛け状態になっているが、これは現在ダウンロード を予約する番組として選択されている状態を示してい る。リモートコントローラなどの入力手段によって選択 する番組を変更し、確定する。矢印ボタン(「↑」、 「!」ボタンなど)によって選択する番組を変更し、 「確定」ボタンでダウンロードを予約する番組として確

する端末管理表122とバージョン管理手段112が管 理するバージョン管理表123との照合を行っていた が、すでに端末管理表122との照合は表示番組抽出手 段2001によって終了しているので、バージョン管理 表123との照合だけを行う。実施の形態1と同様に、 ソフトウェア番組一覧表に記述された番組が伝送するソ フトウェアが端末の現在のソフトウェアよりも新しい場 合には、番組予約管理手段120にダウンロードするフ ァイルの一覧とそれを伝送する番組の情報を記述したダ ウンロード一覧表を渡す。さらに本実施の形態では実施 の形態1と異なり、正しくダウンロードの予約が終了し たととを番組案内表示手段119に返す。それを受け取 った番組案内表示手段119は、図98のようにその旨 を表示して利用者に通知する。番組予約管理手段120 にダウンロード一覧表が渡された後の処理については、 実施の形態1と同様である。

【0045】もし、ソフトウェア番組一覧表に記述された番組が伝送するソフトウェアが端末の現在のソフトウェアよりも新しくないか同じ場合は、すでに予約を選択されたソフトウェアのダウンロードは終了していることになるので、その旨番組案内表示手段119に返す。番組案内表示手段119は図99のように表示して、ダウンロードの予約を行わなかったことを利用者に通知する。

【0046】ソフトウェア番組抽出手段109の動作も実施の形態1と少し異なる。実施の形態1では、受け取った番組案内の中からソフトウェア番組だけを抽出してソフトウェア番組一覧表を作成していたが、本実施の形態では、ソフトウェア種別が"システムアプリケーション"になっているソフトウェア番組だけを抽出する。番組案内が図22のようなときには、図96ようなソフトウェア番組一覧表をダウンロード判断手段111に渡すことになる。以降の処理の流れおよび他の構成手段については、実施の形態1と同様である。

【0047】以上のように、本実施の形態では、受信手段108が受信した番組案内のうち番組案内表示手段119で表示する番組を、端末情報管理手段110から受け取る端末の種類と番組案内に記述された対応端末との照合結果と、ソフトウェア種別に従って抽出する表示番40組抽出手段2001を備え、利用者にダウンロードをするかどうかの判断をさせたいソフトウェアのソフトウェア種別を"ユーザアブリケーション"に設定することにより、ソフトウェアを含むソフトウェア番組を利用者に表示し、選択させることが可能になる。表示前にソフトウェアが端末に対応しているかどうかのチェックも行い、対応しているソフトウェアを伝送している番組だけを表示するので、端末で動作しないソフトウェアの番組を利用者が選択するような無駄な動作を減らすことができる。利用者も選択したソフトウェア番組によるダウンロードの予約が完了したのか、すでにダウンロード済み

なのかを知ることができる。逆に、利用者にダウンロー ドするかどうかを判断させず、セットアップ情報と端末 のバージョン管理表と端末管理表の照合による判断だけ でダウンロードさせたいソフトウェアについては、ソフ トウェア種別を"システムアプリケーション"に設定す

23

ることにより、利用者にソフトウェア番組が伝送されて いるととさえ気付かないようにさせることが可能とな

【0048】なお、本実施の形態では、表示番組抽出手 段2001が番組案内表示手段119が表示する番組を 10 抽出するときに端末情報管理手段110が管理する端末 管理表122を参照していたが、これに加えてバージョ ン管理手段112が管理するバージョン管理表123を 参照して、すでにダウンロード済みのソフトウェアを伝 送するソフトウェア番組を取り除いても構わない。この 場合でも、ダウンロード判断手段にソフトウェア番組一 覧表が渡るまでにバージョン管理表123が更新されて いる可能性があるため、ダウンロード判断手段111に おけるバージョン管理表123との照合処理は必要であ るが、番組案内が表示番組抽出手段2001に渡るまで 20 名、ソフトウェアのバージョンおよび対応端末の情報が にダウンロードされたソフトウェアを伝送するソフトウ ェア番組を表示することがないため、利用者による無駄 な選択が更に減る。

【0049】(実施の形態4)図28において、101 から123については(実施の形態1)における図1と 同様のものである。2801は端末116における現在 日時を管理するとともにダウンロード判断手段111か ら渡されるダウンロード一覧表と、番組予約管理手段1 20の管理する番組予約表を参照し、ダウンロード予約 の対象とするソフトウェア番組を選択して、その結果を 番組予約管理手段120に渡すソフトウェア番組決定手 段である。

【0050】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、その動作を以下に説明す

【0051】図28においてセンター115が番組案 内、映像データ、音声データおよびソフトウェアを構成 するファイルを伝送手段107によって送出する処理と 端末116の受信手段108、ソフトウェア番組抽出手 段109、端末情報管理手段110、ダウンロード判断 手段111、バージョン管理手段112、ダウンロード 実行手段113およびソフトウェア格納手段114にお ける処理は(実施の形態1)と同様である。

【0052】図29はダウンロード判断手段111から 出力されるダウンロード一覧表の一実施例であり、放送 されるソフトウェア番組に関する日付、チャンネル、伝 送開始時刻、伝送終了時刻、番組名、ダウンロードする ファイルの名前とバージョン、ソフトウェア名、ソフト ウェアのバージョンおよび対応端末の情報が含まれる。

【0053】図29のダウンロード一覧表の例では、番 SO く、かつ、番組予約管理手段120の管理する番組予約

組名および番組内容(とこでは番組で放送されるソフト ウェア)が同一で伝送開始時刻と伝送終了時刻のみが異 なる複数のソフトウェア番組が登録されている。このよ うに同一の内容のソフトウェア番組を繰り返して放送す ることにより、端末および利用者は、他の番組の録画お よびダウンロードにより、例えば伝送開始時刻が8:3 0で伝送終了時刻が9:00である番組名「朝のダウン ロード」のソフトウェア番組からダウンロードすること ができなくても、同一番組名「朝のダウンロード」を持 つ伝送開始時刻が9:30で伝送終了時刻が10:00 であるソフトウェア番組から同じソフトウェアをダウン ロードをすることが可能である。

【0054】図37は番組予約管理手段120が管理す る番組予約表の一実施例であり、録画予約およびダウン ロード予約が設定される番組の日付、チャンネル、伝送 開始時刻、伝送終了時刻、番組名、録画予約およびダウ ンロード予約における予約要素の名前とバージョンの情 報が含まれる。ダウンロード予約の場合は予約要素(フ ァイルの名前とバージョン) に加えて、ソフトウェア 含まれる。この例では3つの録画予約が登録されてお り、日付が97年6月25日で番組名「昼ドラマ」を持 つ番組については、チャンネル1で伝送開始時刻10: 00から伝送終了時刻11:00までの時間に映像1と 音声 1 から構成される番組の録画予約が登録されている ことが分かる。録画予約の場合は番組予約表のエントリ のソフトウェア名は(なし)に設定される。一方、ダウ ンロード予約の場合は番組予約表のエントリにソフトウ ェア名が設定されるため、録画予約とダウンロード予約 の判別ができる。

【0055】(実施の形態1)では、ダウンロード判断 手段111が出力するダウンロード一覧表を番組予約管 理手段120が受け取っていたが、本実施例では、ダウ ンロード一覧表は一旦ソフトウェア番組決定手段280 1に渡される。ソフトウェア番組決定手段2801は、 ダウンロード判断手段111から渡されるダウンロード 一覧表と番組予約管理手段120が管理する番組予約表 を参照して、ダウンロード予約を行うソフトウェア番組 を決定するソフトウェア番組決定処理を実行する。

【0056】この処理の流れを図39を用いて説明す る。図39はソフトウェア番組決定処理の大きな流れを 示すものである。ソフトウェア番組決定処理は、はじめ に、図28のダウンロード判断手段111から受け取っ たダウンロード一覧表から、ソフトウェア番組の番組名 ごとに番組名チェック結果一覧表を作成する番組名チェ ック処理(ステップ3901)を実行する。次に、ステ ップ3901においてソフトウェア番組の番組名どとに 作成された番組名チェック結果一覧表から、ソフトウェ ア番組決定手段2801が管理する現在日時から最も近

表に登録されているすべての番組と放送時間が重複しな いソフトウェア番組を決定する伝送開始時刻チェック処 理(ステップ3902)を実行する。以下にソフトウェ ア番組決定処理の詳細について図40から図42を用い て説明する。

【0057】図40は、ソフトウェア番組決定処理の第 1のステップである番組名チェック処理(図39のステ ップ3901)の処理の流れを示したものである。以下 に番組名チェック処理について図40を用いて説明す る。はじめに、図28のソフトウェア番組決定手段28 10 01は、ダウンロード判断手段111から受け取ったダ ウンロード一覧表のすべてのエントリを、番組名チェッ ク処理を行うチェック対象として設定する(ステップ4 001)。次に、ダウンロード一覧表中のエントリから 1 つの番組名を選択してチェック用番組名として設定す る (ステップ4003)。 この例では、図29で示され、 るダウンロード一覧表中のエントリから番組名として 「朝のダウンロード」を選択してチェック用番組名とす る。次に、番組名チェック処理の出力となる、ソフトウ ェア番組の番組名ごとに出力される番組名チェック結果 20 一覧表を空に初期化する(ステップ4004)。次に、 チェック対象となっているすべてダウンロード一覧表中 のエントリについて (ステップ4005)、ダウンロー ド一覧表中のエントリの番組名とステップ4003で設 定したチェック用番組名が一致するか調べる(ステップ 4006)。一致する場合には、ダウンロード一覧表中 の現在のエントリを、番組名チェック処理を行う対象か **ら除外するとともに、チェック結果一覧表に登録する** (ステップ4007)。以上のステップ4003からス テップ4007までの処理を、ステップ4001でチェ 30 ック対象として設定されたエントリが、ダウンロードー 覧表にある限り実行する(ステップ4002)。以上の 処理をもって番組名チェック処理を終了する。この例で は、図29で示されるダウンロード一覧表に対して、ス テップ4003において番組名として「朝のダウンロー ド」を選択してステップ4004以降の処理を行うと、 番組名として「朝のダウンロード」のみを含むエントリ から構成される図31に示す番組名チェック結果一覧表 が作成される。同様に図29で示されるダウンロードー 覧表について、ステップ4003において番組名として 40 「天気データ」および「臨時ダウンロード」を選択して ステップ4004以降の処理を行うと、それぞれ図32 および図33で示される番組名チェック結果一覧表が作 成される。

【0058】図41は、ソフトウェア番組決定処理の第 2のステップである伝送開始時刻チェック処理(図39 のステップ3902)の処理の流れを示したものであ る。以下に伝送開始時刻チェック処理について図41を 用いて説明する。図28のソフトウェア番組決定手段2 801は、番組名チェック処理(図39のステップ39 50 は、時刻チェック結果エントリが空であるか調べ(ステ

01)でソフトウェア番組の番組名ごとに作成された番 組名チェック結果一覧表についてステップ4101以降 の処理を実行する(ステップ4100)。この例では、 「朝のダウンロード」と「天気データ」および「臨時ダ ウンロード」の3つのソフトウェア番組の番組名にそれ それ対応した、図31と図32および図33で示される 番組名チェック結果一覧表について、ステップ4101 以降の処理が実行される。ここでは、はじめに伝送開始 時刻チェック処理を行う番組名チェック結果一覧表とし て、図31で示される番組名「朝のダウンロード」に対 応する番組名チェック結果一覧表についてステップ41 01以降の処理を実行する。

【0059】はじめに、ソフトウェア番組決定手段28 01は、チェック用日時として設定可能な最大日時を設 定する(ステップ4101)。ここでは、チェック用日 時として、ダウンロート判断手段111から受け取った 図29に示すダウンロード一覧表中のすべてのエントリ の日付および伝送終了時刻よりも大きい97年6月26 日の0時0分を設定する。

【0060】次に、ソフトウェア番組決定手段2801 は、番組名チェック結果一覧表中のエントリのうち、現 在日時からもっとも近い伝送開始時刻を持つエントリを 記憶するための、時刻チェック結果エントリを空に初期 化する(ステップ4102)。

【0061】次に、番組名チェック結果一覧表中のすべ

てのエントリについて (ステップ4103)、番組名チ ェック結果一覧表中のエントリの伝送開始日時が、ソフ トウェア番組決定手段2801が管理する現在日時以降 で、かつ、ステップ4101で設定したチェック用日時 より前記現在日時に近いか調べる(ステップ410 4)。ステップ4104で条件を満たす場合には、番組 名チェック結果一覧表中の現在のエントリの伝送開始日 時をチェック用日時として設定する(ステップ410 5) とともに、前記エントリを時刻チェック結果エント リとして記憶する(ステップ4106)。この例では、 番組名「朝のダウンロード」に対応する図31で示され る番組名チェック結果一覧表において、伝送開始時刻が 7:30となっているエントリは、ソフトウェア番組決 定手段2801が管理する現在日時の一実施例である図 30で示す日時97年6月25日8時15分以前である ため、ステップ4104において条件を満たさない。前 記番組名チェック結果一覧表(図31)において、伝送 開始時刻が8:30となっているエントリは、伝送開始 時刻が9:30となっているエントリよりも前記現在日 時に近いため、結果として、図34に示すエントリが前 記番組名チェック結果一覧表中で現在日時からもっとも 近いダウンロード番組のエントリであると決定され、時 刻チェック結果エントリとして記憶される。

【0062】次に、ソフトウェア番組決定手段2801

ップ4107)、時刻チェック結果エントリが空でない 場合には重複チェック処理を呼び出す(ステップ410 9)。時刻チェック結果エントリが空である場合には、 次の番組名チェック結果一覧表を選択してステップ41 01以降を処理する(ステップ4108)。この例で は、図34に示すエントリがステップ4106において 時刻チェック結果エントリとして記憶されるため、重複 チェック処理 (ステップ4109) が呼び出される。 【0063】重複チェック処理(ステップ4109) ントリと、予約管理手段120が管理する番組予約表を 参照して、前記番組予約表に登録されているすべての番 組の放送時間(伝送開始時刻から伝送終了時刻までの時 間)と、時刻チェック結果エントリとして記憶されたソ フトウェア番組の放送時間(伝送開始時刻から伝送終了 時刻までの時間)が重複するかチェックし、重複しない 場合には前記時刻チェック結果エントリを、重複チェッ ク処理の出力となるダウンロード予約一覧表に登録する 処理である。図42は、伝送開始時刻チェック処理(図 39のステップ3902)における重複チェック処理 (図41のステップ4109)の処理の流れを示したも のである。以下に重複チェック処理について図42を用 いて説明する。はじめに、図28のソフトウェア番組決 定手段2801は、重複チェック処理の出力となるダウ ンロード予約一覧表を空に初期化する(ステップ420 0)。次に、番組予約管理手段120が管理する番組予 約表を参照して、前記番組予約表中のすべてのエントリ について (ステップ4201)、番組予約表に登録され ているエントリの放送時間(伝送開始時刻から伝送終了 時刻までの時間)と、時刻チェック結果エントリの放送

27

【0064】ステップ4201の処理が終了した時点、 すなわち、番組予約表中のすべてのエントリについて放 送時間が重複しなかった場合には、時刻チェック結果エ ントリをダウンロード予約一覧表に登録して(ステップ 4205)、重複チェック処理を終了して図41の伝送 時刻チェック処理中のステップ4109に戻る。との例 では、図34で示す時刻チェック結果エントリの放送時 間である伝送開始時刻8:30から伝送終了時刻9:0 0までの時間と、図37で示す番組予約表中のすべての エントリの放送時間(伝送開始時刻から伝送終了時刻ま での時間)が重複しないため、ステップ4205により 前記時刻チェック結果エントリ(図34)がダウンロー ド予約一覧表に登録される。同様に、図32で示す番組 名チェック結果一覧表について伝送開始時刻チェック処 理(図39のステップ3902)を行った場合、図35 で示される時刻チェック結果エントリがダウンロード予 約一覧表に登録される。

時間(伝送開始時刻から伝送終了時刻までの時間)を比 較し、放送時間の重複がないか調べる(ステップ420

2).

【0065】一方、ステップ4202において放送時間 が重複する場合には、時刻チェック結果エントリと登録 内容が一致するエントリを、番組名が対応する番組名チ ェック結果一覧表から削除する(ステップ4203)。 次に、重複チェック処理を打ち切り、図41の伝送時刻 チェック処理中のラベルA (ステップ4101) に移り (ステップ4204)、ラベルA(ステップ4101) 以降の処理を再実行する。

【0066】この例では、番組名「臨時ダウンロード」 は、ステップ4106で記憶された時刻チェック結果エ 10 に対応する図33で示される番組名チェック結果一覧表 について、伝送開始時刻チェック処理(図39のステッ プ3902)を行った場合、重複チェック処理(図4 2) において、前記番組名チェック結果一覧表(図3 3)の唯一のエントリの放送時間(伝送開始時刻10: 00から伝送終了時刻10:30までの時間)に対し て、図37で示される番組予約表において番組名「昼ド ラマ」を持つエントリの放送時間(伝送開始時刻10: 00から伝送終了時刻11:00までの時間)が重複す るため、番組名「臨時ダウンロード」を持つソフトウェ 20 ア番組は、ダウンロード予約一覧表に登録されない。 【0067】ソフトウェア番組決定手段2801は、以 上の処理をもってソフトウェア番組決定処理を終了す る。との例では、ソフトウェア番組決定手段2801 は、図29で示すダウンロード一覧表に対して、ソフト ウェア番組決定処理を行った結果、図36に示すダウン ロード予約一覧表を作成してソフトウェア番組決定処理 を終了する。

【0068】ソフトウェア番組決定手段2801は、ソ フトウェア番組決定処理で作成したダウンロード予約一 覧表をダウンロード一覧表として番組予約管理手段12 0に渡す。ここでは、ソフトウェア番組決定手段280 1により図36に示すダウンロード予約一覧表が、ダウ ンロード一覧表として番組予約管理手段120に渡され

【0069】(実施の形態1)では番組予約管理手段1 20はダウンロード判断手段111から渡されるダウン ロード一覧表を受け取っていたが、本実施例では、ソフ トウェア番組決定手段2801から渡されるダウンロー ド一覧表を受け取る。番組予約管理手段120は、番組 予約管理手段120の管理する番組予約表に、ソフトウ ェア番組決定手段2801から渡されるダウンロードー 覧表のすべてのエントリを追加し、前記番組予約表を更 新する。この例では、番組予約管理手段120は図37 で示される前記番組予約表に、ソフトウェア番組決定手 段2801から渡される図36に示すダウンロード一覧 表のすべてのエントリを追加して、図38に示すように 前記番組予約表を更新する。この時、ダウンロード一覧 表のエントリの「ダウンロードするファイルの名前とバ ージョン」に設定されている情報を、番組予約表のエン 50 トリの「予約要素の名前とバージョン」に設定する。

【0070】以降の処理の流れについては、(実施の形 態1)と同様である。以上のように、本実施例では、ダ ウンロード判断手段111からダウンロード一覧表を受 け取り、番組予約管理表120の管理する番組予約表を 参照してダウンロード予約の対象とするソフトウェア番 組を選択して、その結果を番組予約管理手段120に渡 すソフトウェア番組決定手段を備えることによって、端 末によって現在の時刻から最も近く、かつ、他の番組の 録画およびダウンロードの予約が入っていない時間のソ フトウェア番組からソフトウェアをダウンロードするこ 10 とが可能となる。

【0071】 (実施の形態5) 図43において、101 から123については(実施の形態1)における図1と 同様のものである。4301はソフトウェア番組抽出手 段109の管理するソフトウェア番組一覧表を参照し て、利用者にダウンロード可能なソフトウェア名の一覧 を出力し、かつ、利用者から選択されたダウンロードの 対象とするソフトウェア名を受け取り、前記ソフトウェ ア名を持つソフトウェア番組情報をダウンロード判断手 段111に出力するソフトウェア選択手段である。

【0072】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、その動作を以下に説明す

【0073】図43においてセンター115が番組案 内、映像データ、音声データおよびソフトウェアを構成 するファイルを伝送手段107によって送出する処理と 端末116の受信手段108、ソフトウェア番組抽出手 段109、端末情報管理手段110、ダウンロード判断 手段111、バージョン管理手段112、ダウンロード 実行手段113、ソフトウェア格納手段114および番 組予約管理手段120における処理は(実施の形態1) と同様である。

【0074】図44はソフトウェア番組抽出手段109 が管理するソフトウェア番組一覧表の一実施例であり、 ソフトウェア番組が放送される日付、チャンネル、伝送 開始時刻、伝送終了時刻、番組名、ソフトウェアを構成 するファイルの名前とバージョン、ソフトウェア名、ソ フトウェアのバージョンおよび対応端末の情報が含まれ 3.

【0075】図44に示したソフトウェア番組一覧表の 例では、番組名および番組内容(ここでは番組で放送さ れるソフトウェア)が同一で伝送開始時刻と伝送終了時 刻のみが異なる複数のソフトウェア番組が登録されてい る。このように同一の内容のソフトウェア番組を繰り返 して放送することにより、端末および利用者は、他の番 組の録画およびダウンロードにより、例えば伝送開始時 刻が7:30で伝送終了時刻が8:00である番組名 「朝のダウンロード」のソフトウェア番組からダウンロ ードすることができなくても、同一番組名「朝のダウン ロード」を持つ伝送開始時刻が8:30で伝送終了時刻 SO けるチェック対象として設定する(ステップ790

が9:00であるソフトウェア番組から同じソフトウェ アをダウンロードをすることが可能である。

【0076】ソフトウェア番組抽出手段109は、受信 手段108から受け取った番組案内の中から、ソフトウ ェア番組だけを抽出してソフトウェア番組一覧表を作成 して管理する。ソフトウェア番組抽出手段109が番組 案内からソフトウェア番組一覧表を作成する手順は(実 施の形態1)で示したものと同様である。

【0077】(実施の形態1)では、ソフトウェア番組 抽出手段109が出力するソフトウェア番組一覧表をダ ウンロード判断手段111が受け取っていたが、本実施 例では、前記ソフトウェア番組一覧表は一旦ソフトウェ ア選択手段4301に渡される。ソフトウェア選択手段 4301は、ソフトウェア番組抽出手段109から受け 取ったソフトウェア番組一覧表と利用者から選択された ソフトウェア名を参照して、ソフトウェア番組一覧表か らダウンロードするソフトウェアに対応するエントリを 選択して、ダウンロード判断手段111に渡すためのソ フトウェア番組一覧表を作成するソフトウェア選択処理 20 を実行する。

【0078】この処理の流れを図95を用いて説明す る。図95はソフトウェア選択処理の大きな流れを示す ものである。ソフトウェア選択処理では、最初に、ソフ トウェア番組抽出手段109から受け取ったソフトウェ ア番組一覧表からソフトウェア一覧表を作成するソフト ウェア名抽出処理(ステップ9501)を実行する。次 に、ソフトウェア名抽出処理で作成したソフトウェアー 覧表を端末116の画面に出力するソフトウェア一覧表 出力処理(ステップ9502)を実行した後、利用者か ら選択されたダウンロードを希望するソフトウェアのソ フトウェア名を記憶するソフトウェア名入力処理(ステ ップ9503)を実行し、最後にダウンロード判断手段 111に渡すソフトウェア番組一覧表を作成するソフト ウェア番組一覧表作成処理(ステップ9504)を実行 する。以下にソフトウェア選択処理の詳細について図7 9と図80を用いて説明する。

【0079】図79は、ソフトウェア選択処理の第1の ステップであるソフトウェア名抽出処理(図95のステ ップ9501)の処理の流れを示したものである。以下 にソフトウェア名抽出処理について図79を用いて説明 する。

【0080】はじめに、図43のソフトウェア選択手段 4301は、ソフトウェア名抽出処理の出力となるソフ トウェア一覧表を空に初期化する(ステップ790

【0081】次に、ソフトウェア選択手段4301は、 ソフトウェア番組抽出手段109から受け取ったソフト ウェア番組一覧表を参照して、ソフトウェア番組一覧表 中のすべてのエントリを、ソフトウェア名抽出処理にお

2)。との例では、図44に示すソフトウェア番組一覧 表中のすべてのエントリである合計6エントリをチェッ ク対象として設定する。次に、ソフトウェア選択手段4 301は、チェック対象として設定されているエントリ がソフトウェア番組一覧表にある限り(ステップ790 3)、ソフトウェア番組一覧表中のエントリから1つの ソフトウェア名を選択してチェック用ソフトウェア名と して設定した(ステップ7904)後、前記チェック用 ソフトウェア名をソフトウェア一覧表に登録する(ステ ップ7905)。この例では、ステップ7904におい 10 て、図44で示されるソフトウェア番組一覧表中のエン トリからソフトウェア名「CA」を選択してチェック用 ソフトウェア名として設定し、ステップ7905におい て前記チェック用ソフトウェア名「CA」をソフトウェ ア一覧表に登録する。前記チェック用ソフトウェア名 「CA」をソフトウェア一覧表に登録した結果を図45 に示す。

31

【0082】次に、ソフトウェア選択手段4301は、 チェック対象として設定されているソフトウェア番組一 覧表中のすべてのエントリについて(ステップ790 6)、ソフトウェア番組一覧表中のエントリのソフトウ ェア名と、ステップ7904で設定したチェック用ソフ トウェア名が一致するか調べる(ステップ7907)。 一致する場合には、ソフトウェア番組一覧表中の現在の エントリをチェック対象から外す(ステップ790 8)。以上の処理をもって、ソフトウェア選択手段43 01におけるソフトウェア名抽出処理が終了する。この 例では、図44で示されるソフトウェア番組一覧表に対 してソフトウェア名抽出処理を実行すると、図46に示 されるソフトウェア一覧表が作成される。

【0083】次に、ソフトウェア選択手段4301は、 ソフトウェア選択処理の第2のステップであるソフトウ ェア一覧表出力処理(図95のステップ9502)を実 行する。ソフトウェア一覧表出力処理では、ソフトウェ ア名抽出処理(図95のステップ9501)で作成され たソフトウェア一覧表を端末116の画面に出力し、利 用者に対してダウンロードを希望するソフトウェア名の 選択を要求する。この例では、図46で示されるソフト ウェア一覧表を図93で示されるように端末の画面に出 力する。との時、ソフトウェア一覧表はソフトウェア番 組中で放送されるソフトウェア名のみを有し、かつ、ソ フトウェア名のみが端末の画面に出力されるため、利用 者にソフトウェアの放送される時間を意識させないこと が可能となっている。

【0084】次に、ソフトウェア選択手段4301は、 ソフトウェア選択処理の第3のステップであるソフトウ ェア名入力処理(図95のステップ9503)を実行す る。ソフトウェア名入力処理は、利用者から選択された ダウンロードを希望するソフトウェア名をダウンロード ソフトウェア名として記憶するものである。この例で

は、図93に示した端末の画面から、利用者によりダウ ンロードを希望するソフトウェア名として「CA」が入 力され、ダウンロードソフトウェア名として「CA」が 記憶されるものとする。

【0085】図80は、ソフトウェア選択処理の第4の ステップであるソフトウェア番組一覧表作成処理(図9 5のステップ9504)の処理の流れを示したものであ る。以下にソフトウェア番組一覧表作成処理について図 80を用いて説明する。

【0086】最初に、ソフトウェア選択手段4301 は、ソフトウェア名入力処理(図95のステップ950 3) で記憶したダウンロードソフトウェア名をチェック 用ソフトウェア名として設定し(ステップ8001)、 出力用ソフトウェア番組一覧表を空に初期化する(ステ ップ8002)。この例では、チェック用ソフトウェア 名として「CA」が設定される。ここで、出力用ソフト ウェア番組一覧表はソフトウェア番組抽出手段109か ら受け取ったソフトウェア番組一覧表と同一のフォーマ ットにより構成されるものとする。

【0087】次に、ソフトウェア選択手段4301は、 ソフトウェア番組抽出手段109から受け取ったソフト ウェア番組一覧表中のすべてのエントリについて(ステ ップ8003)、ソフトウェア番組一覧表中のエントリ のソフトウェア名と、ステップ8001で設定したチェ ック用ソフトウェア名が一致するか調べる(ステップ8 004)。一致する場合には、ソフトウェア番組一覧表 中の現在のエントリを出力用ソフトウェア番組一覧表に 登録する(ステップ8005)。この例では、ソフトウ ェア選択手段4301に図44で示されるソフトウェア 30 番組一覧表からソフトウェア名「CA」を持つ2つのエ ントリが出力用ソフトウェア番組一覧表に登録され、結 果として図94に示す出力用ソフトウェア番組一覧表が 作成される。

【0088】以上の処理をもってソフトウェア番組一覧 表作成処理が終了し、ソフトウェア選択手段4301に おけるソフトウェア選択処理が終了する。

【0089】ソフトウェア選択手段4301は、ソフト ウェア選択処理におけるソフトウェア番組一覧表作成処 理(図95のステップ9504)により作成された出力 40 用ソフトウェア番組一覧表をソフトウェア番組一覧表と してダウンロード判断手段111に渡す。この例では、 図94に示される出力用ソフトウェア番組一覧表がソフ トウェア番組一覧表としてダウンロード判断手段111 に渡される。

【0090】(実施の形態1)ではダウンロード判断手 段111はソフトウェア番組抽出手段109から渡され るソフトウェア番組一覧表を受け取っていたが、本実施 例では、ソフトウェア選択手段4301から渡されるソ フトウェア番組一覧表を受け取る。

【0091】以降の処理の流れについては、 (実施の形

態1)と同様である。以上のように、本実施例では、ソ フトウェア抽出手段109の管理するソフトウェア番組 一覧表を参照して利用者にダウンロード可能なソフトウ ェア名の一覧を出力し、かつ、利用者から選択されたダ ウンロードの対象とするソフトウェア名の入力を受け て、前記ソフトウェア名を持つソフトウェア番組のみか ら構成されるダウンロード番組一覧表をダウンロード判

33

断手段111に出力するソフトウェア選択手段4301 を備えることによって、利用者はソフトウェア番組の放 送時間を意識することなく、所望のソフトウェア名を入 10 力することにより、端末は前記ソフトウェア名で示され るソフトウェアをソフトウェア番組からダウンロードす

ることが可能となる。

【0092】(実施の形態6)図81において、101 から123および2801については(実施の形態4) における図28と同様のものである。8101は、図示 せぬ番組録画要求手段によって番組予約管理手段120 に対して渡される番組録画一覧表と、番組予約管理手段 120が管理する番組予約表を参照し、番組録画一覧表 に登録されている番組の放送時間と、番組予約表に登録 20 されているソフトウェア番組の放送時間の重複を検出し た場合には、重複した番組予約表中のソフトウェア番組 を重複予約一覧表に登録した後、前記重複予約一覧表を ソフトウェア番組決定手段2801に渡し、ソフトウェ ア番組決定手段2801が前記ソフトウェア番組に代わ る新たなソフトウェア番組をダウンロード予約を行うソ フトウェア番組として決定できた場合には、ソフトウェ ア番組決定手段2801から受け取ったダウンロードー 覧表と前記重複予約一覧表を番組予約管理手段120に 渡す番組予約監視手段である。

【0093】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、その動作を以下に説明す

【0094】図81においてセンター115が番組案 内、映像データ、音声データおよびソフトウェアを構成 するファイルを伝送手段107によって送出する処理と 端末116の受信手段108、ソフトウェア番組抽出手 段109、端末情報管理手段110、ダウンロード判断 手段111、バージョン管理手段112、ダウンロード 実行手段113およびソフトウェア格納手段114にお 40 ける処理は(実施の形態4)と同様である。

【0095】図82は、図示せぬ番組録画要求手段によ って図81の番組予約管理手段120に対して渡される 番組録画一覧表の一実施例であり、番組録画一覧表のエ ントリは、番組予約管理手段120の管理する番組予約 表と同一のフォーマットにより構成され、新たに録画予 約を行いたい番組の放送される日付、チャンネル、伝送 開始時刻、伝送終了時刻、番組名、録画予約における予 約要素の名前とバージョンの情報が含まれる。番組録画

トリのソフトウェア名、ソフトウェアのバージョンおよ び対応端末の情報は(なし)に設定される。

【0096】図29は、ダウンロード判断手段111か

ら出力されるダウンロード一覧表の一実施例であり、放 送されるソフトウェア番組に関する日付、チャンネル、 伝送開始時刻、伝送終了時刻、番組名、ダウンロードす るファイルの名前とバージョン、ソフトウェア名、ソフ トウェアのバージョンおよび対応端末の情報が含まれ る。図29で示されるダウンロード一覧表の例におい て、番組名および番組内容(ここでは番組で放送される ソフトウェア)が同一で伝送開始時刻と伝送終了時刻の みが異なる複数のソフトウェア番組が登録されている理 由と効果については(実施の形態4)と同様である。 【0097】図38は、番組予約管理手段120が管理 している番組予約表の一実施例であり、録画予約および ダウンロード予約が設定される番組の日付、チャンネ ル、伝送開始時刻、伝送終了時刻、番組名、録画予約お よびダウンロード予約における予約要素の名前とバージ ョンの情報が含まれる。ダウンロード予約の場合には、 予約要素(ファイルの名前とバージョン)に加えて、ソ フトウェア名、ソフトウェアのバージョンおよび対応端 末の情報が含まれる。この例では、3つの録画予約と2 つのダウンロード予約が登録されており、録画予約とし ては、番組名「昼ドラマ」と「ニュース」と「映画」を 持つ3つの番組が登録され、ダウンロード予約として は、番組名「朝のダウンロード」と「天気データ」を持 つ2つの番組が登録されている。 録画予約の場合は番組 予約表のエントリのソフトウェア名は(なし)に設定さ れる。一方、ダウンロード予約の場合は番組予約表のエ 30 ントリにソフトウェア名が設定されるため、録画予約と

【0098】(実施の形態4)では、番組予約管理手段 120の管理する番組予約表に新たな録画予約が設定さ れる際の処理については考慮していないが、本実施例で は、図81の番組予約監視手段8101が、図示せぬ番 組録画要求手段によって番組予約管理手段120に対し て渡される番組録画一覧表と、番組予約管理手段120 が管理する番組予約表を参照して、番組録画一覧表に登 録されている番組の放送時間と、番組予約表にすでに設 定されているソフトウェア番組の放送時間の重複を検出 した場合には、放送時間が重複したソフトウェア番組を 重複予約一覧表に登録して前記重複予約一覧表をソフト ウェア番組決定手段2801に渡し、ソフトウェア番組 決定手段2801が前記ソフトウェア番組に代わる新た なソフトウェア番組をダウンロード予約を行うソフトウ ェア番組として決定できた場合には、番組予約監視手段 8101は、ソフトウェア番組決定手段2801から受 け取ったダウンロード一覧表と、前記重複予約一覧表を 番組予約管理手段120に渡す処理を行う。 図81に 一覧表にはソフトウェア番組は登録されないため、エン 50 示すソフトウェアダウンロードシステムについて、上記

ダウンロード予約の判別ができる。

の詳細な処理の流れを以下に説明する。

【0099】はじめに、図示せぬ番組録画要求手段は、 番組の録画予約を行うために番組予約管理手段120に 対して番組録画一覧表を渡す。とこで、番組録画要求手 段が録画予約の対象とする番組を決定し、番組録画一覧 表を作成する処理については、本特許の主眼ではないの で説明を省略する。との例では、図82に示す番組録画 一覧表が番組予約管理手段120に渡される。図82に 示す番組録画一覧表では、録画予約を行う番組の情報と して、番組名が「朝のワイドショー」で日付が97年6 10 月25日、放送時間は伝送開始時刻9:00から伝送終 了時刻10:00までの時間で、予約要素として映像4 と音声4が設定されていることが分かる。次に、番組予 約管理手段120は、図示せぬ番組録画要求手段から受 け取った番組録画一覧表を番組予約監視手段8101に 渡す。この例では、図82に示す番組録画一覧表が番組 予約監視手段8101に渡される。

35

【0100】番組予約監視手段8101は、番組予約管 理手段120から受け取った番組録画一覧表と、番組予 約管理手段120が管理する番組予約表を参照して、番 組録画一覧表に登録されている番組の放送時間と、番組 予約表に登録されているソフトウェア番組の放送時間の 重複を検出した場合には、放送時間が重複したソフトウ ェア番組を重複予約一覧表に登録する重複予約検出処理 を実行する。

【0101】重複予約検出処理の流れを図89を用いて 説明する。はじめに、図81の番組予約監視手段810 1は、重複予約検出処理の出力となる重複予約一覧表を 空に初期化する(ステップ8901)。次に、番組予約 管理手段120から受け取った番組録画一覧表中のすべ てのエントリについて以下の処理を実行する(ステップ 8902)。この例では、図82に示される番組録画一 覧表中のすべてのエントリについて処理を実行する。次 に、番組予約監視手段8101は、番組予約管理手段1 20の管理する番組予約表を参照して、前記番組予約表 のすべてのエントリについて以下の処理を実行する(ス テップ8903)。この例では、図38に示す番組予約 表のすべてのエントリについて処理を実行する。次に、 番組予約表中のエントリのソフトウェア名に(なし)が 設定されているか調べる(ステップ8906)。ステッ プ8906でソフトウェア名として(なし)が設定され ている場合には、前記エントリに対する処理を終了し、 次の番組予約表のエントリに移る(ステップ890 7)。ステップ8906の処理によって、番組予約表中 のエントリが録画予約であるかダウンロード予約である か判別することができる。本実施例では、番組予約表に 登録されているダウンロード予約、すなわちソフトウェ ア番組についてのみ、番組録画一覧表に登録されている 番組の放送時間との、放送時間の重複の検出を行うもの。 とする。録画予約として番組予約表に登録されている番 50 エントリと一致するエントリを、前記ダウンロード一覧

組の放送時間と、録画予約一覧表に登録されている番組 の放送時間が重複している場合の処理については、本実 施例のソフトウェアダウンロードシステムの主眼ではな いため説明を省略する。一方、ステップ8906でソフ トウェア名として(なし)以外が設定されている場合に は、前記エントリの放送時間(伝送開始時刻から伝送終 了時刻までの時間)が、前記番組録画一覧表中のエント リの放送時間(伝送開始時刻から伝送終了時刻までの時 間)が重複しないか調べる(ステップ8904)。ステ ップ8904で重複が検出された場合には、重複した前 記番組予約表中の現在のエントリを重複予約一覧表に登 録する(ステップ8905)。この時、番組予約表のエ ントリの「予約要素の名前とバージョン」に設定されて いる情報を、重複予約一覧表のエントリの「ダウンロー ドするファイルの名前とバージョン」に設定する。

【0102】以上の処理をもって重複予約検出処理が終 了し、出力として重複予約一覧表が作成される。との例 では、番組予約監視手段8101は、図82で示される 番組録画一覧表と図38で示される番組予約表を参照 し、重複予約検出処理を実行した結果、前記番組録画一 覧表において番組名「朝のワイドショー」を持つエント リの放送時間(伝送開始時刻9:00から伝送終了時刻 10:00までの時間)が、前記番組予約表におけるソ フトウェア番組で番組名「天気データ」を持つエントリ の放送時間(伝送開始時刻9:00から伝送終了時刻 9:30までの時間)を含むことから、前記2つのエン トリの放送時間が重複することを検出し、図83に示さ れる重複予約一覧表が作成される。

【0103】次に、番組予約監視手段8101は、重複 予約検出処理で作成した重複予約一覧表を複製してソフ トウェア番組決定手段2801に渡す。この例では、図 83で示される重複予約一覧表がソフトウェア番組決定 手段2801に渡される。

【0104】以上の処理によって、本実施例のソフトウ ェアダウンロードシステムの端末116は、新たに録画 予約を設定しようとする番組の放送時間と、ダウンロー ド予約として番組予約表に設定されているソフトウェア 番組の放送時間の重複を検出することが可能となる。

【0105】図81のソフトウェア番組決定手段280 1は、番組予約監視手段8101から重複予約一覧表を 受け取った場合には、ダウンロード判断手段111から 受け取ったダウンロード一覧表中のエントリのうち、前 記重複予約一覧表に登録されているエントリと一致する エントリをすべて削除して、ダウンロード一覧表を更新 する。この例では、図29で示されるダウンロード一覧 表がダウンロード判断手段111からソフトウェア番組 決定手段2801に渡されているものとする。この時、 ソフトウェア番組決定手段2801は、図83で示され る重複予約一覧表において番組名「天気データ」を持つ 37 表から削除する。との結果、前記ダウンロード一覧表は 図84で示されるように更新される。

【0106】ソフトウェア番組決定手段2801は、更新後のダウンロード一覧表に対してソフトウェア番組決定処理を実行する。ソフトウェア番組決定処理の手順については(実施の形態4)で説明したものと同様である。ソフトウェア番組決定手段2801は、ソフトウェア番組決定処理の出力としてダウンロード予約一覧表を作成する。この例では、図30で示される現在日時の時に、図84で示されるダウンロード一覧表についてソフトウェア番組決定処理を実行した結果として、図85で示されるダウンロード予約一覧表がソフトウェア番組決定手段2801により作成される。

【0107】(実施の形態4)では、ソフトウェア番組決定手段2801は、作成したダウンロード予約一覧表に対して特に処理を加えることなくダウンロード一覧表として番組予約管理手段120に渡していたが、本実施例では、以上の処理に加えて、番組予約監視手段8101から重複予約一覧表を受け取った場合には、作成したダウンロード予約一覧表の中から、番組予約監視手段8101から受け取った重複予約一覧表中に登録されている番組名と同一の番組名を持つエントリのみをすべて選択して、ダウンロード一覧表として番組予約監視手段8101に渡す。この例では、図85で示されるダウンロード予約一覧表から、重複予約一覧表(図83)に登録されている番組名「天気データ」と同一の番組名を持つエントリのみが選択されて、図86に示されるダウンロード一覧表が番組予約監視手段8101に渡される。

【0108】以上の処理によって、本実施例のソフトウェアダウンロードシステムの端末116は、放送時間の 30 重複が検出されたソフトウェア番組と、番組名および番組内容(ここでは番組で放送されるソフトウェア)が一致し、かつ、放送時間が異なる新たなソフトウェア番組を決定することができるため、放送時間の重複が検出された前記ソフトウェア番組のダウンロード予約時間を移動することが可能となる。

【0109】番組予約監視手段8101は、ソフトウェア番組決定手段2801から渡されるダウンロード一覧表に1つ以上のエントリが登録されている場合、番組予約管理手段120に前記ダウンロード一覧表と重複予約40検出処理で作成した重複予約一覧表を渡す。この例では、図86で示されるダウンロード一覧表と図83で示される重複予約一覧表が番組予約管理手段120に渡される。

【0110】(実施の形態4)では、番組予約管理手段 120はソフトウェア番組決定手段2801から受け取 ったダウンロード一覧表のエントリを、番組予約管理手 段120が管理する番組予約表に登録して前記番組予約 表を更新していたが、本実施例では、以上の処理に加え て、番組予約監視手段8101からダウンロード一覧表 50 れている放送時間が重複したソフトウェア番組の代わり

と重複予約一覧表を受け取った場合には、前記ダウンロ ード一覧表と重複予約一覧表を参照して番組予約表を更 新する予約更新処理を実行する。以下に予約更新処理の 詳細について図90を用いて説明する。番組予約管理手 段120は、番組予約表中のすべてのエントリについて (ステップ9002)、番組予約表中のエントリが番組 予約監視手段8101から受け取った重複予約一覧表中 のエントリと登録内容が一致するか調べる (ステップ9 003)。一致する場合には、番組予約表中の現在のエ ントリを削除する(ステップ9004)。以上のステッ プタ002からステップ9004の処理を前記重複予約 一覧表のすべてのエントリに対して実行する(ステップ 9001)。この例では、図83で示された重複予約一 覧表における唯一のエントリである番組名「天気デー タ」を持つエントリと登録内容が一致するエントリが、 図38で示される番組予約表から削除されて、前記番組 予約表は図87で示されるように更新される。

【0111】次に、番組予約管理手段120は、番組予約監視手段8101から受け取ったダウンロード一覧表 に登録されているすべてのエントリと、図示せぬ番組録 画要求手段から受け取った番組録画一覧表を番組予約表 に登録する(ステップ9005)。この時、ダウンロード一覧表のエントリの「ダウンロードするファイルの名前とバージョン」に設定されている情報を、番組予約表のエントリの「予約要素の名前とバージョン」に設定する。この例では、図86で示されるダウンロード一覧表と図82で示される番組録画一覧表が、図87で示される番組予約表に登録され、前記番組予約表は図88に示すように更新される。以上の手順により番組予約管理手30段120による予約更新処理が終了する。

【0112】本実施例のソフトウェアダウンロードシステムにおけるソフトウェアダウンロードの以降の処理は (実施の形態4)と同様である。

【0113】以上のように、本実施例では、番組の録画 予約とダウンロード予約を番組予約表として管理する番 組予約管理手段と、前記番組予約管理手段に渡される番 組の録画予約を監視する番組予約監視手段と、ソフトウ ェアをダウンロードする番組を決定するソフトウェア番 組決定手段を備え、前記番組予約監視手段は、番組予約 管理手段の管理する番組予約表と、前記予約管理手段に 渡される番組録画一覧表を参照し、前記番組録画一覧表 に登録されている番組の放送時間が、すでに前記番組予 約表にダウンロード予約として登録されているソフトウ ェア番組の放送時間と重複する場合には、ソフトウェア 番組決定手段に対して前記ソフトウェア番組と同一内容 で放送時間が異なる新たなソフトウェア番組を決定さ せ、前記ソフトウェア番組決定手段が新たなソフトウェ ア番組を決定できた場合には、前記番組予約監視手段 は、前記ソフトウェア番組を、前記予約管理表に設定さ として前記予約管理表に設定するように、前記番組予約管理手段に渡すことにより、端末は、新たに録画予約を行う番組の放送時間が、すでにダウンロード予約されているソフトウェア番組の放送時刻と重複した場合にも、可能な限りダウンロード予約を行うソフトウェア番組の伝送開始時刻を移動することができ、新たな録画予約と矛盾することなくソフトウェア番組からのダウンロードを実現することが可能となる。

39

【0114】(実施の形態7)図47は、本発明による第7のソフトウェアダウンロードシステムの構成を示す図である。図47において、4701Aはソフトウェアをソフトウェア通信プロトコルAに従うよう加工して出力するプロトコル処理手段A、4701Bはソフトウェア通信プロトコルBに従うよう加工して出力するプロトコル処理手段Bであり、他の構成要素は図1と同様である。ここで、端末A116Aはソフトウェア通信プロトコルとしてプロトコルAのみに対応している端末であり、端末B116Bはソフトウェア通信プロトコルとしてプロトコルAのみに対応している端末であり、端末B116Bはソフトウェア通信プロトコルとしてプロトコルBのみに対応している端末である。

【0115】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、以下その動作を説明する。 【0116】プロトコル処理手段4701A、4701 Bは、ソフトウェアをソフトウェア通信プロトコルに従 うよう加工して出力する。図48は、プロトコル処理手 段4701AがソフトウェアをプロトコルAに従うよう に加工したデータを示した概念図である。これはプロト コルAが、ソフトウェアをファイルごとに固定長のブロ ックに入るよう分割してそれぞれにメッセージへッダを つけてデータブロックメッセージ4801とし、さらに 30 データブロックメッセージ4801のサイズやファイル 数等の情報を含むコマンドメッセージ4802を生成し て、これらのメッセージを送信し、端末側ではまずコマ ンドメッセージ4802からデータブロックメッセージ 4801の情報を取り出し、それを元にデータブロック メッセージ4801からソフトウェアを取り出すという プロトコルである場合の例である。プロトコルBはプロ トコルAとは異なるプロトコルであり、プロトコル処理 手段4701BはプロトコルBに従うようにソフトウェ アを加工して出力する。

【0117】ソフトウェアサーバ102はプロトコル処理手段A4701Aとプロトコル処理手段B4701Bの両方に同時にソフトウェアを出力する。プロトコル処理手段A4701Aは対応するプロトコルAに従うようにソフトウェアを加工し、送信手段104Aに出力する。プロトコル処理手段B4701Bは対応するプロトコルBに従うようにソフトウェアを加工し、送信手段104Bに出力する。番組スケジューラ103は番組案内を、映像サーバ105は映像データを、音声サーバ106は音声データをそれぞれ送信手段104A、送信手段50

104Bの両方に同時に送信する。送信手段104Aは映像データ、音声データ、番組案内とプロトコル処理手段A4701Aにより加工されたデータを、送信手段104Bは映像データ、音声データ、番組案内とプロトコル処理手段B4701Bにより加工されたデータを、それぞれ送信する。

不盾することなくソフトウェア番組からのダウンロード 【0118】端末A116Aでは、ソフトウェア通信ブを実現することが可能となる。 ロトコルAに従って送信されたデータを受信し、ソフト (0114) (実施の形態7)図47は、本発明による ウェアを取り出して格納する。また、端末B116Bで 第7のソフトウェアダウンロードシステムの構成を示す 10 は、ソフトウェア通信ブロトコルBに従って送信された 図である。図47において、4701Aはソフトウェア データを受信し、ソフトウェアを取り出して格納する。

また、ことではソフトウェア通信プロトコルが2種類の場合について説明したが、ソフトウェア通信プロトコルCにのみ対応する端末Cのためにセンターが対応するソフトウェア通信プロトコルとしてプロトコルCを追加する場合も同様に、ソフトウェアをプロトコルCに従って加工して出力するプロトコル処理手段Cと、プロトコル処理手段Cにより出力されたデータと映像データ、音声データ、番組案内を送信する送信手段を追加すれば十20分である。

【0119】以上のように、センター側でソフトウェア 通信プロトコルの種類でとにプロトコル処理手段を備えることにより、複数ソフトウェア通信プロトコルで同時 に同じソフトウェア番組を送信することが可能となる。また、対応するソフトウェア通信プロトコルを増やす場合には、センターはそのプロトコル用のプロトコル処理手段と送信手段のみを新たに追加すればよい。

【0120】(実施の形態8)図49は、本発明における第8のソフトウェアダウンロードシステムの構成を示す図である。図49において、4901Aはソフトウェア通信プロトコルAに従って送信されてきたデータからソフトウェアを取り出し出力するプロトコル処理手段A、4901Bはソフトウェア通信プロトコルBに従って送信されてきたデータからソフトウェアを取り出し出力するプロトコル処理手段B、4902は端末が複数備えるプロトコル処理手段とプロトコル名の一覧である対応プロトコル処理手段を切り替えてプロトコル処理するプロトコル処理実行手段、4903はダウンロード番組が使用するソフトウェア通信プロトコルを判定し端末がそのプロトコルを使用可能かどうかを判断するプロトコル判断手段であり、他の構成要素は図1と同様である

(0121)以上のように構成されたソフトウェアダウンロードシステムについて、以下その動作を説明する。 (0122)センター115の番組スケジューラ103は、ソフトウェア番組の情報として、使用するソフトウェア通信プロトコル名も番組案内に付加して出力する。 図50はプロトコル名が付加された番組案内を示すものである。

【0123】端末116のソフトウェア番組抽出手段109は、番組案内からソフトウェア番組を抽出する際に番組案内に含まれているプロトコル名も含めて抽出し、ソフトウェア番組一覧表を作成して出力する。図51はソフトウェア番組一覧表を示す図である。ダウンロード判断手段111もダウンロード一覧表にプロトコル名を含めて出力する。図52はダウンロード一覧表を示す図である。

41

(0124)プロトコル処理実行手段4902は、端末 116が保持しているプロトコル処理手段名と各プロト 10 コル処理手段が対応するプロトコル名との一覧を対応プロトコル一覧表として管理している。図53は対応プロトコル一覧表を示す図である。

【0125】プロトコル判断手段4903は、ダウンロ ード判断手段 111から受け取ったダウンロード一覧表 の各番組のプロトコルについて、プロトコル処理実行手 段4902の対応プロトコル一覧表を参照し、ソフトウ ェア番組のプロトコルが対応プロトコル一覧表に含まれ ているか確認し、対応プロトコル一覧表に含まれている プロトコルのソフトウェア番組のみを抽出して新たなダ 20 ウンロード一覧表とする。プロトコル判断手段4903 の動作について図73を用いて説明する。ダウンロード ·判断手段111から受け取ったダウンロード一覧表(図 52) に含まれるすべての番組について、ソフトウェア 通信プロトコル名がプロトコル処理実行手段4902が 管理する対応プロトコル一覧表に含まれているかどうか を調べる(ステップ7301)。図52の番組「朝のダ ウンロード」のプロトコル名「A」は図53の対応プロ トコル一覧表に含まれている。この場合、ダウンロード 一覧表(図52)の番組「朝のダウンロード」に関する 30 情報をすべて抽出する(ステップ7302)。図52の 番組「ダウンロードA」のプロトコル名「C」は対応プ ロトコル一覧表(図53)に含まれない。このため、番 組「ダウンロードA」はダウンロード不可能であり、こ の番組に関する情報は抽出しない。プロトコル判断手段 4903は抽出した番組すべての情報をダウンロードー 覧表として番組予約管理手段120に渡す。図54はブ ロトコル判断手段4903が出力するダウンロード一覧 表を示す図である。

【0126】番組予約管理手段120は、プロトコル判 40 断手段4903から渡されたダウンロード一覧表を管理 し、ソフトウェア番組の開始時刻になるとダウンロード一覧表に含まれるソフトウェア番組のプロトコル名を取り出してプロトコル処理実行手段4902に渡す。プロトコル処理実行手段4902は管理している対応プロトコル一覧表を検索し、番組予約管理手段120から渡されたプロトコル名に対応するプロトコル処理手段をソフトウェア格納手段114から取り出してプロトコル処理実行の際に使えるように設定し、プロトコル処理手段選択完了通知を番組予約管理手段120に返す。例えば、50

図54の情報が番組予約管理手段120に渡された場 合、ソフトウェア番組「朝のダウンロード」の開始時間 になると、番組予約管理手段120はプロトコル名 「A」をプロトコル処理実行手段4902に渡す。プロ トコル処理実行手段は図53の対応プロトコル一覧表を 検索してプロトコル「A」に対応するプロトコル処理手 段A4901Aを選択してソフトウェア格納手段114 から取り出し、番組予約手段120に選択完了通知を渡 す。番組予約管理手段120はダウンロード番組情報を プロトコル名も含めてダウンロード実行手段113に渡 す。上の例では番組予約管理手段120は図78のよう なダウンロード番組情報をダウンロード実行手段113 に渡す。ダウンロード実行手段113は、番組予約管理 手段120よりダウンロード番組情報(図78)を受け 取ると、受信手段108を制御してチャンネルを切り替 え、データ受信開始指示を行なう。受信手段10.8は受 信したチャンネルのデータをプロトコル処理実行手段4 902に渡す。プロトコル処理実行手段4902は、取 得しているプロトコル処理手段A4901Aによりプロ トコル「A」に従って受信データからソフトウェアを取 り出し、ダウンロード実行手段113に渡す。ダウンロ ード実行手段113は、プロトコル処理実行手段490 2より受け取ったソフトウェアをソフトウェア格納手段 114に格納する。他の動作については、実施の形態1 と同様である。

【0127】以上のように、端末はさまざまなソフトウェア通信プロトコルで送信されるソフトウェアダウンロード番組を受信し、ソフトウェアを格納することができる。

【0128】また、端末116で利用可能なプロトコル 処理手段も他のソフトウェアと同様にソフトウェアダウ ンロード番組として放送することにより、端末116が 対応可能なソフトウェア通信プロトコルを増やすことが 可能である。以下にプロトコル処理手段のダウンロード の動作を示す。

【0129】ソフトウェアサーバ102にソフトウェア 通信プロトコル「C」に対応するプロトコル処理手段C が蓄積されている。番組スケジューラ103はプロトコル処理手段Cを他のソフトウェアと同様にソフトウェア ダウンロード番組として放送するよう番組スケジュールを掲成し、番組案内に組み込む。その際、プロトコル処理手段の名前と対応するプロトコル名も番組案内に付加される。プロトコル処理手段を放送する場合は、プロトコル処理手段自身が対応するプロトコル以外のプロトコルで放送される。図55はプロトコル処理手段放送番組を含む番組案内の例である。

【0130】端末116では、上記と同様の動作により、番組予約管理手段120からダウンロード実行手段113にプロトコル処理手段Cのダウンロード番組情報50が渡される。図56はダウンロード実行手段113が受

け取るダウンロード番組情報を示す図である。

【0131】ダウンロード実行手段113は図56のダ ウンロード番組情報にプロトコル処理手段の対応プロト コル名「C」が含まれていることからダウンロードする ソフトウェアがプロトコル処理手段であることを識別す る。

43

【0132】ダウンロード実行手段113の動作を図7 4を用いて説明する。ダウンロード実行手段113は番 組予約管理手段120から受け取ったダウンロード番組 情報(図56)のソフトウェアのダウンロードを実行し 10 (ステップ7401)、ソフトウェア格納手段114に ソフトウェアを格納する (ステップ7402)。 ダウン ロード番組情報(図56)にプロトコル処理手段の対応 プロトコル名があるかどうかを確認し(ステップ740 3)、ある場合にはプロトコル処理実行手段4902に プロトコル処理手段名、対応プロトコル名とともにプロ トコル登録指示を渡す(ステップ7404)。バージョ ン管理手段112に対してダウンロードしたソフトウェ ア名とバージョンを渡す(ステップ7405)。

【0133】プロトコル処理実行手段4902はダウン 20 ロード実行手段113から受け取ったプロトコル処理手 段名、プロトコル名を対応プロトコル一覧表に追加す る。図57は、プロトコル処理手段Cが追加された対応 プロトコル表を示す図である。

【0134】以上のように、プロトコル処理手段をソフ トウェアダウンロード番組で放送することにより、端末 が対応するソフトウェア通信プロトコルを追加すること ができる。

(実施の形態9)図58は、本発明における第9のソフ トウェアダウンロードシステムの構成を示す図である。 図58において、5801は番組ごとの視聴率を蓄積し ている視聴率管理手段、5802は視聴者が視聴してい るチャンネルを検出し番組予約管理手段120に予約さ れているソフトウェアダウンロード番組のチャンネルと 比較するチャンネル検出手段であり、送信手段104は 複数のチャンネルのデータを含むトランスポートストリ ームを複数送信するものであり、端末116の受信手段 108は同時には一つのトランスポートストリームしか 受信できず受信するトランスポートストリームを切り替 えることができるものであり、他の構成要素は実施の形 態1と同様である。

【0135】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、以下その動作を説明する。 【0136】送信手段104からは複数のトランスポー トストリームが送信され、各トランスポートストリーム には複数のチャンネルのデータが一定サイズのパケット に分割された状態で含まれる。トランスポートストリー ムにはそれぞれトランスポートストリーム識別子が付加 されて送信される。また、トランスポートストリーム内 の各パケットには、それぞれ一意にパケット識別子が付 50 たチャンネルの番組の映像、音声、ファイルの各データ

加されて送信される。図59は送信手段104から送信 される複数のトランスポートストリームの様子を示す概 **念図である。5901はトランスポートストリーム、5** 902は映像、音声、ソフトウェアの各データを含むパ ケットである。トランスポートストリーム5901には それぞれトランスポートストリーム識別子が割り当てら れる。各トランスポートストリーム5901では映像、 音声、ファイルのデータを含む固定長のパケット590 2がそれぞれトランスポートストリーム内で一意のパケ ット識別子を付加されて送信される。複数のパケットの データが一つのチャンネルの構成要素となる。番組スケ ジューラ103はチャンネル番号とそのチャンネルが送 信されるトランスポートストリーム識別子とそのチャン ネルのデータを運ぶ複数のパケットに割り当てられたパ ケット識別子を番組案内に加えて放送する。図60は番 組案内を示す図である。

【0137】端末116の受信手段108は、同時には 1つのトランスポートストリームしか受信することがで きない。受信した番組案内を参照して、所望のチャンネ ルが含まれるトランスポートストリーム識別子を取り出 し、そのトランスポートストリームを受信するよう切り 替える。さらに番組案内により所望のチャンネルの番組 を構成するデータを含むパケットのパケット識別子を取 り出し、該当するバケット識別子の付加されたパケット を順次取り出し、パケットからデータを取り出して映 像、音声、ソフトウェアを得る。他のトランスポートス トリームに含まれるチャンネルを受信するためには、受 信するトランスポートストリームを切り替える必要があ る。

【0138】図61は端末116の受信手段108の内 部の構成図である。図61において6101は指定され たトランスポートストリーム識別子のトランスポートス トリームを受信するチューナ、6102はチューナ61 01が受信したトランスポートストリームから指定され たパケット識別子を持つパケットを選択して取り出すパ ケット抽出手段、6103はパケットから映像データを 取り出す映像デコーダ、6104はパケットから音声デ ータを取り出す音声デコーダ、6105はパケットから ファイルデータを取り出すソフトウェアデコーダ、61 06は番組案内を管理しチャンネル選択指示を受けてチ ューナ6101およびパケット抽出手段6102を制御 する受信管理手段である。

【0139】受信管理手段6106はチャンネル選択指 示を受けると管理している番組案内から指定されたチャ ンネルのトランスポートストリーム識別子を取得し、チ ューナ6101に渡す。チューナ6101は受信するト ランスポートストリームを渡されたトランスポートスト リーム識別子のトランスポートストリームに切り替え る。次に受信管理手段6106は番組案内から指定され のパケット識別子を取り出し、各パケット識別子とその パケット識別子が対応するデータが映像、音声、ファイ ルのいずれであるかを示すパケットデータ情報をパケッ ト抽出手段6102に渡す。パケット抽出手段6102 は受け取ったパケット識別子のパケットを抽出し、パケ ットデータ情報に従って映像データを含むパケットを映 像デコーダ6103に、音声データを含むパケットを音 声デコーダ6104に、ファイルデータを含むパケット をソフトウェアデコーダ6105にそれぞれ渡す。各デ コーダは、パケットを順次受け取り、パケットからデー 10 タを取り出し、それぞれ対応する出力手段へ出力する。 【0140】受信手段108はこのように動作するた め、視聴中の番組のチャンネルと異なるトランスポート ストリーム内の他チャンネルの番組は同時に受信するこ とはできないが、視聴中の番組のチャンネルと同じトラ

45

【0141】視聴率管理手段5801は、番組ごとの視 聴率を管理している。図62は視聴率管理手段5801 が管理している番組視聴率表を示す図である。

ンスポートストリーム内の他チャンネルの番組であれ

ば、その番組も同時に受信することが可能である。

【0142】番組スケジューラ103は、例えば端末1 16のシステムソフトウェア等のように、可能な限り短 期間に多くの端末116にダウンロードさせたいソフト ウェアを放送する場合には、視聴率の高い番組と同じ時 間に、その番組のチャンネルと同じトランスポートスト リーム内の別チャンネルで放送するように、放送スケジ ュールを編成する。

【0143】図63は、視聴率管理手段5801の番組 視聴率表(図62)を参照し視聴率の高い映像、音声デ ータだけの番組と同じ時間に、同じトランスポート内の 30 チャンネルにソフトウェアダウンロード番組を送信する よう編成した番組案内を示す図である。図62の番組視 聴率表によるとチャンネル 1 の「ピンポンキーズ」が他 番組と比較して視聴率が高いことがわかる。そこで「ピ ンポンキーズ」が送信されるトランスポートストリーム 識別子1のトランスポートストリーム内のチャンネル3 で「ピンポンキーズ」と同じ時間にソフトウェアダウン ロード番組を送信するようスケジュールを編成する。

【0144】端末116で番組案内を受けてソフトウェ に格納されるまでの動作は実施の形態1と同様である。 図76は番組予約管理手段120が格納するダウンロー ド一覧表を示す図である。

【0145】番組予約管理手段120は、ソフトウェア 番組の開始時刻になると、ダウンロード一覧表(図7 6) に含まれるトランスポートストリーム識別子をチャ ンネル検出手段5802に渡す。

【0146】チャンネル検出手段5802の動作を図7 5を用いて説明する。チャンネル検出手段5802は受 信手段108から現在視聴中のチャンネルのトランスボ 50 してソフトウェア選択手段3601でソフトウェア名が

ートストリーム識別子を受け取り、番組予約管理手段1 20から受け取ったトランスポートストリーム識別子と 比較する(ステップ7501)。トランスポートストリ ーム識別子が一致した場合は番組予約管理手段120に ダウンロード可能通知を返す(ステップ7502)。ト ランスポートストリーム識別子が一致しない場合は番組 予約管理手段120にダウンロード不可能通知を返す (ステップ7503)。

【0147】番組予約管理手段120はダウンロード可 能通知を受け取った場合のみ、ダウンロード実行手段1 13に対してダウンロード番組情報とダウンロード実行 指示を渡す。図77はダウンロード番組情報を示す図で ある。

【0148】ダウンロード実行手段113は受信手段1 08から視聴者が視聴しているチャンネルと同じトラン スポートストリームで放送されているソフトウェアをダ ウンロードし、ソフトウェア格納手段114に格納す る。他の動作は、実施の形態1と同様である。このよう に視聴者が視聴率の高い番組を見ているのと同時に他チ 20 ャンネルのソフトウェアダウンロード番組のソフトウェ アをダウンロードすることが可能となる。

【0149】以上のように、視聴率が高い番組と同じ時 間に同じトランスポートストリーム内にソフトウェアダ ウンロード番組を放送するように放送スケジュールを編 成することにより、ソフトウェアがダウンロードされる 確率を高くすることができる。

【0150】 (実施の形態10) 図64は、本発明の第 10のソフトウェアダウンロードシステムの構成を示す ものである。図64において、6401はソフトウェア 名とソフトウェアの更新前のバージョンと更新後のバー ジョンと更新日時の組からなる更新ログ情報、6402 は更新ログ情報6401を管理しソフトウェアをダウン ロードしてソフトウェアが更新された際に更新ログ情報 を更新するバージョン更新ログ管理手段であり、他の構 成要素は実施の形態5と同様である。

【0151】以上のように構成されたソフトウェアダウ ンロードシステムについて、以下その動作について説明 する。

【0152】センター115は、ソフトウェアの最新の ア番組のダウンロード一覧表が番組予約管理手段120 40 バージョンだけでなく、古いバージョンのソフトウェア を放送する番組スケジュールを絹成して番組案内を生成 する。図66は、一つ前のバージョンのソフトウェアの 番組も含む番組案内を示す図である。チャンネル1の 「朝のダウンロード」では「CA」というソフトウェア のバージョン「7」が送信される。また同じチャンネル 1の「昼のダウンロード」という番組では「CA」とい **うソフトウェアの 1 つ前のバージョンであるバージョン** 「6」が送信される。

【0153】端末116において実施の形態5と同様に

表示される。ソフトウェア選択手段3601は、ソフト ウェア名とともにバージョン復帰指示も入力可能であ り、バージョン復帰指示を入力された場合は、ソフトウ ェア番組案内とともにバージョン復帰指示情報もダウン ロード判断手段111に出力する。図67は、図66の 番組案内の情報をソフトウェア選択手段3601で表示 した様子を示す図である。番組案内に含まれるソフトウ ェア名の一覧が表示され、ソフトウェアの選択、および バージョン復帰の指示が入力可能となっている。

47

【0154】図66の番組案内のように送信される場合 10 に、利用者がソフトウェア選択手段3601で、ソフト ウェア名「CA] とともにバージョン復帰指示も入力す ると、ソフトウェア選択手段3601は、ソフトウェア 名「CA」を放送する番組の一覧からなるソフトウェア 番組一覧表とバージョン復帰指示情報をダウンロード判 断手段111に渡す。図68はソフトウェア選択手段3 601から出力されるソフトウェア番組一覧表を示す図 である。

【0155】ダウンロード判断手段111は、ソフトウ ェア番組一覧表ととともにバージョン復帰指示情報を受 20 け取った場合は、バージョン管理手段112が管理して いるバージョン管理表123から、図68のソフトウェ ア番組一覧表にあるソフトウェア名「CA」の現在保持 しているバージョンを取得する。なお、当該ソフトウェ アを現在保持していない場合は、バージョン復帰指示は 無視される。図69はパージョン管理手段112が管理 しているバージョン管理表123を示す図である。この 場合、ソフトウェア「CA」の現在保持しているバージ ョンは「7」である。当該ソフトウェアを現在保持して いる場合は、ダウンロード判断手段111は、バージョ ン更新ログ管理手段6402で管理されている更新ログ 情報6401からソフトウェアの現在のバージョンに更 新する前のバージョンを取得し、ソフトウェア選択手段 3601から渡されたソフトウェア番組一覧表から更新 前のバージョンを放送する番組を検索する。図65は、 バージョン更新ログ管理手段6402が管理する更新ロ グ情報6401を示す図である。ソフトウェア選択手段 3601で利用者がソフトウェア名「CA」のバージョ ン復帰を指示して、更新ログ情報6401が図65のよ うである場合は、ソフトウェア名「CA」の復帰すべき バージョンは「6」であり、このバージョン「6」の放 送は図68のソフトウェア番組一覧表に含まれる。さら にソフトウェア番組一覧表とバージョン管理手段112 が管理するパージョン管理表123を比較してダウンロ ードするファイルを決定してダウンロード一覧表を生成 して番組予約管理手段120に渡す。

【0156】ダウンロード一覧表生成の処理の流れを図 70を用いて説明する。ダウンロード判断手段111 は、受け取ったソフトウェア番組一覧表のすべての番組 について、その番組のソフトウェアと端末に格納されて 50 指定するとソフトウェアの更新前の構成のバージョンの

いる同じソフトウェアの更新前のバージョンを比較する (ステップ7001)。図68のソフトウェア番組一覧 表で番組名「朝のダウンロード」のソフトウェア「C A」のバージョンは7であり、番組名「昼のダウンロー ド I のソフトウェア「CA] のバージョンは6である。 一方、図65の更新ログ情報6401にあるように端末 が現在格納している「СА」の更新前のパージョンは6 であるので、番組名「昼のダウンロード」の方のバージ ョンが一致することがわかる。次にこの番組「昼のダウ ンロード」のソフトウェア「CA」を構成するファイル についてそれぞれのバージョンを端末のバージョン管理 表123(図68)と比較する(ステップ7002)。 番組「昼のダウンロード」の「CA」を構成するファイ ル1とファイル5のバージョンはそれぞれ2と4であ る。一方、バージョン管理表123(図69)にあるよ うに、端末が保持している「CA」のファイル1とファ イル5のバージョンはそれぞれ3と4である。ファイル 1のバージョンは番組「昼のダウンロード」のものの方 が小さいので、ファイル1の情報とソフトウェア「C A」を送信する番組の情報をダウンロードするファイ ル、番組として記憶する(ステップ7003)。このよ うにして生成されたダウンロード一覧表を図71に示 す。なお、ソフトウェア番組一覧表の中にソフトウェア の更新前のバージョンを放送する番組が見つからない場 合は、ダウンロード判断手段111はバージョン復帰指 示を無視する。

【0157】番組予約管理手段120は受け取ったダウ ンロード一覧表に含まれる番組開始時間になると、ダウ ンロード実行手段113にダウンロード番組情報とダウ 30 ンロード指示を渡す。ダウンロード実行手段113は、 受信手段108を制御してダウンロード番組情報にある チャンネルを受信するよう切替え、ダウンロード番組情 報に指定されているソフトウェアのファイルをすべて受 信し、ソフトウェア格納手段114に格納する。

【0158】ダウンロード実行手段113は、ダウンロ ードしたファイルの名前とそのバージョンとファイルを 含むソフトウェアの名前、ソフトウェアのバージョンを バージョン管理手段112に渡す。バージョン管理手段 112は、ダウンロードしたファイルの名前とそのパー ジョンとファイルを含むソフトウェアの名前、ソフトウ ェアのバージョン、ソフトウェアとファイルの更新前の バージョン、更新日時をバージョン更新ログ管理手段6 402に渡す。バージョン更新ログ管理手段6402は 渡された情報を更新ログとして更新ログ情報6401に 記憶する。図72はパージョン復帰後のパージョン更新 ログ管理手段6402が管理する更新ログ情報6401 を示す図である。バージョン管理手段112はバージョ ン管理表123を更新する。

【0159】以上のように、利用者がバージョン復帰を

ものをダウンロードして更新前のバージョンに復帰する ことにより、新しいバージョンに更新したことによって 不具合が生じた場合等には更新前のバージョンに復帰す ることで不具合を取り除くことができる。

49

[0160]

【発明の効果】以上のように本発明によれば、番組案内 にソフトウェアの放送スケジュールを挿入することによ り、必要なときだけソフトウェアを放送することを可能 とし放送帯域の無駄をなくすことができた。また、ソフ トウェアを構成するファイルを番組の構成要素として、 映像データや音声データと同様に扱うことにより、ソフ トウェアの放送だけを目的とする番組案内は不要となっ た。

【0161】また、ソフトウェアとともにセットアップ 情報を番組案内に組み込んで伝送し、端末が管理するバ ージョン管理表と端末管理表と伝送されたセットアップ 情報を照合して、バージョンが上がっているものだけを ダウンロードすることにより、利用者が意識することな く端末のソフトウェアのバージョンアップを行うことが

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態におけるソフトウェ アダウンロードシステムの図

【図2】本発明の第1の実施の形態における番組スケジ ューラ内の番組スケジュールを表す図

【図3】本発明の第1の実施の形態におけるソフトウェ ア管理手段が管理するソフトウェアのセットアップ情報 を表す図

【図4】本発明の第1の実施の形態における番組スケジ ューラから送信手段に渡される番組案内を表す図

【図5】本発明の第1の実施の形態における端末情報管 理手段が管理する端末管理表を表す図

【図6】本発明の第1の実施の形態におけるバージョン 管理手段が管理するバージョン管理表を表す図

【図7】本発明の第1の実施の形態におけるソフトウェ ア番組抽出手段によって番組表から抽出されたソフトウ ェア番組一覧表を表す図

【図8】本発明の第1の実施の形態におけるダウンロー ド判断手段が行う端末の種類チェックの処理の流れを表 す図

【図9】本発明の第1の実施の形態におけるダウンロー ド判断手段が端末の種類チェックを行った後のダウンロ ード一覧表を表す図

【図10】本発明の第1の実施の形態におけるダウンロ ード判断手段が行うソフトウェアのバージョンチェック の処理の流れを表す図

【図11】本発明の第1の実施の形態におけるダウンロ ード判断手段がソフトウェアのバージョンチェックを行 った後のダウンロード一覧表を表す図

【図12】本発明の第1の実施の形態におけるダウンロ 50 ド」に対応する番組名チェック結果一覧表を表す図

ードが終了し、更新されたバージョン管理表を表す図 【図13】本発明の第1の実施の形態における番組案内 表示手段が表示する画面を表す図

【図14】本発明の第2の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの図

【図15】本発明の第2の実施の形態におけるソフトウ ェア管理手段が管理するソフトウェアのセットアップ情 報を表す図

【図16】本発明の第2の実施の形態における番組スケ 10 ジューラから送信手段に渡される番組案内を表す図

【図17】本発明の第2の実施の形態におけるダウンロ ード判断手段から番組予約管理手段に送られるダウンロ ード一覧表を表す図

【図18】本発明の第2の実施の形態における端末情報 管理手段が管理する端末管理表を表す図

【図19】本発明の第2の実施の形態におけるダウンロ ード管理手段が管理するダウンロード管理表を表す図 【図20】本発明の第3の実施の形態におけるソフトウ

ェアダウンロードシステムの図

【図21】本発明の第3の実施の形態におけるソフトウ 20 ェア管理手段が管理するソフトウェアのセットアップ情 報を表す図

【図22】本発明の第3の実施の形態における番組スケ ジューラから送信手段に渡される番組案内を表す図

【図23】本発明の第3の実施の形態における番組案内 表示手段が表示する画面を表す図

【図24】本発明の第3の実施の形態における表示番組 抽出手段から番組案内表示手段に渡される番組案内を表 す図

【図25】本発明の第1~第3の実施の形態における映 30 像サーバが管理する映像データの図

【図26】本発明の第1~第3の実施の形態における音 声サーバが管理する音声データの図

【図27】本発明の第1~第3の実施の形態におけるソ フトウェアサーバが管理するファイルの図

【図28】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの構成図

【図29】本発明の第4の実施の形態におけるダウンロ ード判断手段が出力するダウンロード一覧表を表す図

【図30】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が管理する現在日時を表す図

【図31】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が作成する番組名「朝のダウンロー

ド」に対応する番組名チェック結果一覧表を表す図

【図32】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が作成する番組名「天気データ」に対 応する番組名チェック結果一覧表を表す図

【図33】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が作成する番組名「臨時ダウンロー

40

【図34】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が作成する番組名「朝のダウンロー ド」に対応する時刻チェック結果エントリを表す図 【図35】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が作成する番組名「天気データ」に対

【図36】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段が作成するダウンロード予約一覧表を 表す図

応する時刻チェック結果エントリを表す図

【図37】本発明の第4の実施の形態における番組予約 10 管理手段が管理する番組予約表を表す図

【図38】本発明の第4の実施の形態における番組予約 管理手段が管理する更新後の番組予約表を表す図

【図39】本発明の第4の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定処理の流れを表す図

【図40】本発明の第4の実施の形態における番組名チ ェック処理の流れを表す図

【図41】本発明の第4の実施の形態における伝送開始 時刻チェック処理の流れを表す図

ック処理の流れを表す図

【図43】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの構成図

【図44】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェア番組抽出手段が出力するソフトウェア番組一覧表を 表す図

【図45】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェア選択手段がソフトウェア一覧表に1つのエントリを 登録した結果を表す図

【図46】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ 30 ェア選択手段が作成するソフトウェア一覧表を表す図 【図47】本発明の第7の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの構成図

【図48】本発明の第7の実施の形態におけるプロトコ ル処理手段が行なうソフトウェア加工の処理を示す概念 図

【図49】本発明の第8の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの構成図

【図50】本発明の第8の実施の形態における番組スケ ジューラが出力する番組案内を表す図

【図51】本発明の第8の実施の形態におけるソフトウ ェア番組抽出手段によって番組案内から抽出されたソフ トウェア番組一覧表を表す図

【図52】本発明の第8の実施の形態におけるダウンロ ード判断手段が出力するダウンロード一覧表を表す図 【図53】本発明の第8の実施の形態におけるプロトコ ル処理実行手段が管理する対応プロトコル一覧表を表す \boxtimes

【図54】本発明の第8の実施の形態におけるプロトコ ル判断手段が出力するダウンロード一覧表を表す図

- 【図55】本発明の第8の実施の形態におけるプロトコ ル処理手段放送番組を含む番組案内を表す図

52

【図56】本発明の第8の実施の形態におけるダウンロ ード実行手段が受け取るダウンロード番組情報を表す図 【図57】本発明の第8の実施の形態におけるプロトコ ル処理実行手段が管理する対応プロトコル一覧表のプロ トコル処理手段のダウンロード実行後の様子を表す図

【図58】本発明の第9の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの構成図

【図59】本発明の第9の実施の形態における送信手段 が送信する複数のトランスポートストリームを表す概念

【図60】本発明の第9の実施の形態における番組スケ ジューラが出力する番組案内を表す図

【図61】本発明の第9の実施の形態における端末の受 信手段の内部の構成図

【図62】本発明の第9の実施の形態における視聴率管 理手段が管理する番組視聴率表を表す図

【図63】本発明の第9の実施の形態における番組スケ 【図42】本発明の第4の実施の形態における重複チェ 20 ジューラが番組視聴率表を参照して編成した番組案内を 表す図

> 【図64】本発明の第10の実施の形態におけるソフト ウェアダウンロードシステムの構成図

> 【図65】本発明の第10の実施の形態におけるバージ ョン更新ログ管理手段が管理する更新ログ情報を表す図 【図66】本発明の第10の実施の形態における番組ス ケジューラが出力する番組案内を表す図

> 【図67】本発明の第10の実施の形態におけるソフト ウェア選択手段の表示の様子を表す図

【図68】本発明の第10の実施の形態におけるソフト ウェア選択手段が出力するソフトウェア番組一覧表を表

【図69】本発明の第10の実施の形態におけるバージ ョン管理手段が管理するバージョン管理表を表す図

【図70】本発明の第10の実施の形態におけるダウン ロード判断手段のダウンロード一覧表生成の処理の流れ を表す図

【図71】本発明の第10の実施の形態におけるダウン ロード判断手段が出力するダウンロード一覧表を表す図 【図72】本発明の第10の実施の形態におけるバージ ョン更新ログ管理手段が管理する更新ログ情報のバージ ョン復帰後の様子を表す図

【図73】本発明の第8の実施の形態におけるプロトコ ル判断手段の処理の流れを表す図

【図74】本発明の第8の実施の形態におけるプロトコ ル処理手段をダウンロードする際のダウンロード実行手 段の処理の流れを表す図

【図75】本発明の第9の実施の形態におけるチャンネ ル検出手段の処理の流れを表す図

50 【図76】本発明の第9の実施の形態における番組予約 管理手段が格納するダウンロード一覧表を表す図

【図77】本発明の第9の実施の形態における番組予約 管理手段からダウンロード実行手段に渡されるダウンロ ード番組情報を表す図

53

【図78】本発明の第8の実施の形態における番組予約 管理手段からダウンロード実行手段に渡されるダウンロ ード番組情報を表す図

【図79】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェア名抽出処理の流れを表す図

【図80】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ 10 示している様子を表す図 ェア番組一覧表作成処理の流れを表す図

【図81】本発明の第6の実施の形態におけるソフトウ ェアダウンロードシステムの構成図

【図82】本発明の第6の実施の形態における番組予約 管理手段に渡される番組録画一覧表を表す図

【図83】本発明の第6の実施の形態における重複予約 一覧表を表す図

【図84】本発明の第6の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段による更新後のダウンロード一覧表を 表す図

【図85】本発明の第6の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段によるソフトウェア番組決定処理で作 成されるダウンロード予約一覧表を表す図

【図86】本発明の第6の実施の形態におけるソフトウ ェア番組決定手段により番組予約監視手段に出力される ダウンロード一覧表を表す図

【図87】本発明の第6の実施の形態における番組予約 管理手段による重複予約削除後の番組予約表を表す図

【図88】本発明の第6の実施の形態における番組予約 管理手段による予約更新処理後の番組予約表を表す図

【図89】本発明の第6の実施の形態における番組予約 監視手段における重複予約検出処理の流れを表す図

【図90】本発明の第6の実施の形態における番組予約 管理手段における予約更新処理の流れを表す図

【図91】本発明の第1の実施の形態における番組予約 管理手段からダウンロード実行手段に渡されるダウンロ ード番組情報を表す図

【図92】本発明の第2の実施の形態における番組予約 管理手段からダウンロード実行手段に渡されるダウンロ ード番組情報を表す図

【図93】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェア選択手段が出力するソフトウェア一覧表出力画面を 表す図

【図94】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェア選択手段が出力する出力用ソフトウェア番組一覧表 を表す図

【図95】本発明の第5の実施の形態におけるソフトウ ェア選択処理の流れを表す図

【図96】本発明の第3の実施の形態におけるソフトウ ェア番組抽出手段によって番組表から抽出されたソフト 50 5801 視聴率管理手段

ウェア番組一覧表を表す図

【図97】本発明の第3の実施の形態における番組案内 表示手段からダウンロード判断手段に渡されるソフトウ ェア番組一覧表を表す図

【図98】本発明の第3の実施の形態における番組案内 表示手段がダウンロードを予約したことを表示している 様子を表す図

【図99】本発明の第3の実施の形態における番組案内 表示手段がダウンロードの予約を行わなかったことを表

【図100】本発明の従来例を説明する図 【符号の説明】

101 ソフトウェア管理手段

102 ソフトウェアサーバ

103 番組スケジューラ

104 送信手段

105 映像サーバ

106 音声サーバ

107 送信手段

108 受信手段 20

109 ソフトウェア番組抽出手段

110 端末情報管理手段

111 ダウンロード判断手段

112 バージョン管理手段

113 ダウンロード実行手段

114 ソフトウェア格納手段

115 センター

116 端末

117 映像出力手段

118 音声出力手段

119 番組案内表示手段

120 番組予約管理手段

121 セットアップ情報

122 端末管理表

123 バージョン管理表

1401 ダウンロード終了連絡判断手段

ダウンロード終了連絡送信手段 1402

1403 ダウンロード終了連絡伝送手段

1404 ダウンロード終了連絡受信手段

40 1405 ダウンロード管理手段

2001 表示番組抽出手段

2801 ソフトウェア番組決定手段

4301 ソフトウェア選択手段

4701A、B プロトコル処理手段

4801 データブロックメッセージ

4802 コマンドメッセージ

4901A、B プロトコル処理手段

4902 プロトコル処理実行手段

4903 プロトコル判断手段

8101 番組予約監視手段

*10001 アンテナ 5802 チャンネル検出手段 5901 トランスポートストリーム 10002 コンバータ 5902 パケット 10003 フロントエンド 10004 トランスポートブロック 6101 チューナ 10005 【Cカードインタフェース 6102 パケット抽出手段 10006 CPU 6103 映像デコーダ 6104 音声デコーダ 10007 ROM 10008 RAM 6105 ソフトウェアデコーダ 6106 受信管理手段 10009 EEPROM 10 10010 ビデオデコーダ 6401 更新ログ情報 10011 オーディオデコーダ 6402 バージョン更新ログ管理手段

【図2】

【図25】

10012 NTSCエンコーダ

目付	チャンネル	伝送 開始時刻	伝送 終了時刻	番組名	構成要業	ソフトウェア名
97/06/25	1	6:00	7:00	朝のニュース	映像1	(なし)
	}	1			音声1	
97/06/25	1	7:00	7:30	ピンポンキーズ	映像2	(なし)
	1		Į.		音声3	
					音声 15	
97/06/25	1	1 7:30	8:00 朝のダウン	朝のダウンロード	77/41	CA
					ファイル 5	l
97/06/25	2	6:00	7:00	朝からニュース	映像5	(なし)
			İ		音声7	1
97/06/25	2	7:00	8:00	おかあさんとポン	映像3	(なし)
			1		音声 2	1
97/06/25	2	8:00	9:00	ダウンロードA	ファイル 7	os
,,					77113	1
	1	1				



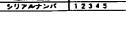
【図45】



【図3】

【図18】

ソフトウェア名	CA		os		DSMCC		
Λ°-ジョン	7		6		5		
対応増末	М		Р		P		
销成要案	ファイル名	ハージョン	ファイル名	パージョン	ファイル名	ハーション	
	ファイル 1	3	77117	2	77110	5	
	ファイルち	4	77113	5	77112	3	
			1		77120	19	



[図27]



【図5】

【図19】

[図26]

端末の種類 M

ľ	থা	3	n	1

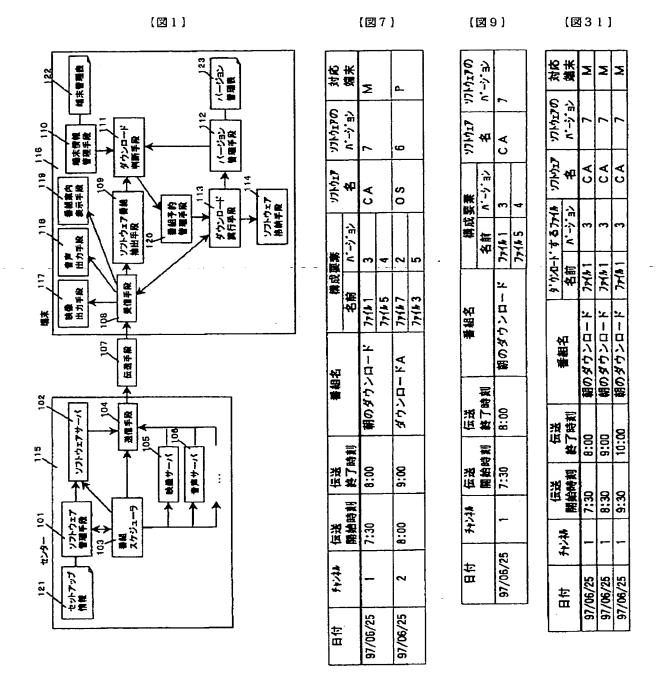
日村	97/06/25	
	8:15	

1711127-8	CA	O S	DSMCC
ب نو- ۱۰ م	7	6	5
製造建末	M	P	P
1 TAG-1 E	12345	23455	67594
成功した	55555	77777	67832
難束の	00001	00678	25367
SETTEMEN*	***		



[図46]

ንን ተ ንድፖረት
CA
DAT
GUI
OS



【図4】

【図13】

日付 外外 (伝掘	伝達 伝達 参加名		i exsi	要素	771-727	77171707	対応
	网络特别	数7章组		名类	トラナシ	8	ハチン	増末	
97/06/25	1	8:00	7:00	観のニュース	映像 i	(&L)	(a L)	(&L)	(8 L)
,				★ 戸 1	(&L)		l		
97/06/25	1	7:00	7:30	ピンポンキーズ	映像2	(@L)	(& L) ((& L)	(0 L)
,			l	ļ	会产1	(& L)			
					金声15	(& r)		l	
97/06/25	05/25 1 7:30	1 7:30 8:00 軽のダウンロ	毛のダウンロード	77/9 1	3	CA	7	М	
.,	-				77/A5	4	1	l	
97/05/25	2	6:00	7:00	組からニュース	映像5	(& L)	(& L)	(¢ L)	(& L)
•,, •,, –			\	- I F	●声7 (4	(& L)	1		
97/06/25	2	7:00	8:00	おかみきんとポン	装飾3	(2L)	(& L)	(\$ L)	(& L)
,	_		1	1	金声 2	(なし)	1	1	1
97/06/25	2	8:00	9:00	ダウンロードA	7767	2	0.5	6	P
-,,			7763	5	1		1		
		1	1	1		1	i	1	1

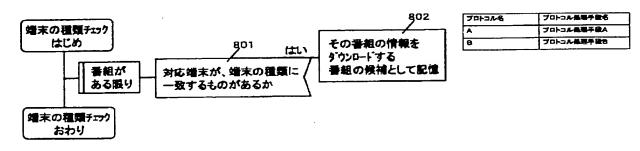
タチャンネル1	
6:00-7:00	観のニュース
7:00-7:80	ピンオンキーズ
7:80-8:00	戦のダウンロード
クチャンネル2	
6:00~7:00	単からニュース
7:00-8:00	おかあきんとれて
8:00-9:00	ダウンロード人
000	- 6

【図6】

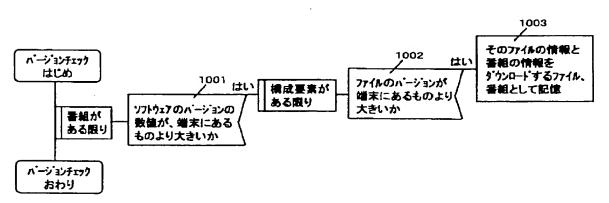
ソフトウェア名	CA		os		DSMCC		
ひ. −シ。ヨン	6		6		5		
構成要素	ファイル名	ハ・ーシ・ョン	77/4名	∧*−シ*ョ ン	ファイル名	ハージョン	
	77/81	2	ファイルフ	2	ファイル10	5	
	ファイル 5	4	77163	5	77/1/12	3	
					771420	1 9	

[図8]

[図53]



【図10】



(図11)

日付	チャンネル	伝送	伝送	番組名	4-0×0-1	するファイル	ソフトウェア	ソフトウェアの
		開始時刻	終了時刻		名前	パージョシ	名	パージョン
97/06/25	1	7:30	8:00	朝のダウンロード	ファイルコ	3	CA	7

【図12】

ソフトウェア名	C A 7		OS		DSMCC		
∧ *-シ*ョン			6		5		
構成要素	ファイル名	ハージョシ	ファル名	パージョン	アル名	パージョン	
	771h 1	3	ファイルフ	2	ファイル 1 0	5	
1:#	77115	4	ファイル3	5	7711 2	3	
					771120	1 9	

【図15】

ソフトウェア名	CA		os		DSMCC	
ハージョン	7		6		5	
対応端末	M		P		Р	
構成要素	77/14名	ハージョン	ファイル名	パージョン	ファイル名	ハージョン
	77/h 1	3	ファイルフ	2	ファイル 1 0	5
	77115	4	771N3	5	77/11 2	3
					77120	19
ダカンロード 終了連絡フラグ		不要		要		

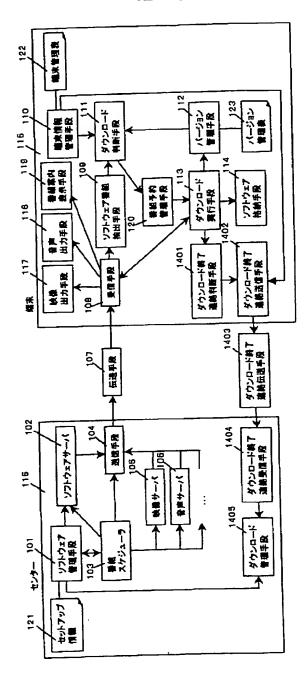
【図17】

チャンネル	伝送	- 1	番組名	4.474-1.49.14		ソフトウェブ	ソフトウェア	8.4×0-1.
	開始時刻	終了時刻		名前	ハージョン	名	のパージ	終了連絡
L	1						ョン	757*
1	7:30	8:00	朝のダウンロード	77161	3	CA	7	要

[図21]

ソフトウェア名	CA		0 \$		DSMCC	
ハージョン	7		6		5	
対応端末	М		P		P	
構成要素	ファイル名	ハ ゜ーシ゜ョン	刀刃仍名	ハージョン	ファイル名	ハージョシ
	ファイル1	3	ファイル フ	2	77/1-10	5
	ファイル 5	4	77143	5	77/1/2	3
				1	771120	1. 9
ソフトウェア種別	ユーサ・アフ・リケーション		システムアフ・リケーション		ユーサ・アフ・リケーション	

[図14]



(図16)

#10	\$47.48	利性	発吐	事品外	報酬は乗	***	171.137	O1161C1	なみ	· 4次· *
<u> </u>	****		11	1	#40	7.5.7	ø	/a./u	排	はいいは
		安全			Z	-	3	•	ŧ	779'
3C/ 3C/ CO	-	8.00	7:00	聞のニュース	4	(¢ L)	(\$ C)	(dg)	(n #)	(#C)
C7 /00 //E	•	3	:		一田和	(なな)				
97/06/25	-	2.00	7:30	アンギンキード	映像2	(1な)	(a t)	(৭ঞ)	(4に)	(a C)
					6 風御	(1 4)				
					9一紀御	(1 \$)				
97 /05 /75	-	7:30	8:8	間のダウンロード	7461	60	CA	7	Σ	歐
2007		!			77/165	4				
97/08/25	2	9:00	2:8	制からニュース	3 4 4 E	(a L)	(a l)	(つな)	(ゆい)	(a c)
		<u> </u>			/ 恒律	(ない)				
97/08/28	~	7:00	8:00	おかあさんたがソ	集権3	(つな)	(3 2)	(みに)	() *	(a (a (b)
67 /00 //5		<u> </u>			青声2	(なり)				
47/06/75	2	8:8	9:00	ダウンロードA	74/17	2	0.5	9	۵.	以
200					77/13	9				
:	::	:	:							

[図20]

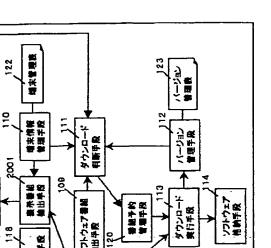
707

115

5

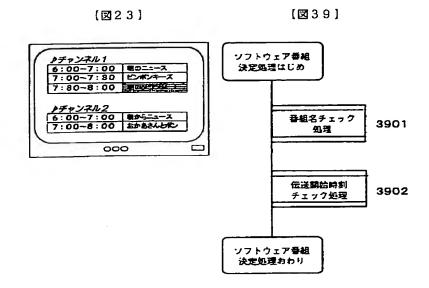
伝道手段

911

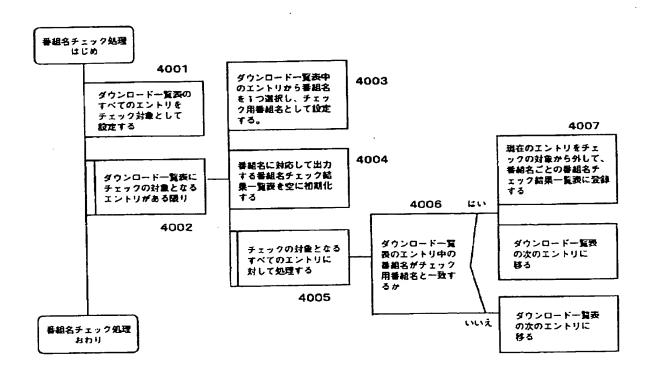


【図22】

===	17.7	海湖	市場	美部名	せ	領政制施	71646	07.1917 TIPITO	神体	171417
		開始時期	株了即知		名制	V=√13>	纯	デージョ	養米	武龍
97/06/25	-	00:9	7:00	と一て二の師	1 御神	(12)	(100)	(つな)	(つな)	(dgr)
					一复作	(a l)				
97/06/25	-	7:00	7:30	アンゲンキード	顺億2	(つな)	(a) ()	(つな)	(J#)	(ar)
					6 異是	(つゆ)				
					らし 威暴	(つな)				
91/06/25	-	7:30	8:00	オーロイムをの間	1414	س	ΥS	7	Σ	1-4.4.6
					31146	7				1-7-7
97/06/25	2	00:9	7:00	オードニらの脚	联信 5	(4い)	(\$C)	(つま)	(a t)	(ない)
					2 超程	(1 th)				_
97/06/25	7	7:00	8:00	わかあさんとボン	RE (1) 3	(つな)	(\$C)	(つな)	(ない)	(a L)
					音声 2	(ない)				
97/08/25	2	8:00	9:00	タウンロードA	21146	2	so	9	_	3.1. (TATA)
					E 1)40	, 5				ゲーション
97/06/25	2	9:00	9:45	キリリーロイケを	0 14146	. 2	D S M	5	۵	1-1.11.1
				1 4 7	77/1/2	3	၁			1-727
					77/120	1.9				
:	:	:	:			-				



【図40】



【図24】

【図28】

【図29】

-	41/44	\vdash	湖岸	春組名	=	情成變素	ķ	OTHER	なな	171411
		関金母類	胜了時期		名前	Λ'-', a;	. 4	νγ. gγ	米	200
	-	90:9	7:00	メーェニの間	- 単独	(1.8) (4.1)	(1.2)	(つま)	(つな)	(つま)
	-	7:00	7:30	アンギンサーメ	中国第3	-	(3 (3 (3)	(ない)	(1 t)	(d t)
	_	7:30	8:00	観のメウンロード	77665	€	ν C	7	2	1-4.77.9 1-5a>
97/06/25	2	6:00	7:00	開からニュース	1000年	() # () # () ()	(3 8)	(# C)	(つな)	(J & C)
1	2	7:00	8:00	おかあさんとポン	表情 由 由 由 2	(#C)	(なり)	(ない)	(ない)	(a t)
7	4:3- 10	101	118	201	報	71,	118	118 116	0(1	122
4かアップ 情報 日付 日付	103 年 103 年 104 年 105 年	世	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	204 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			第一			を を を を を を を を を を を を を を
_	- -	8:8	3 8:8	天気データ		77/89	7		7	Σ
1	_	8:30	9:00	観のダウンロ	1- K	77-(1.1	3	CA	7	Σ
_	-	9:00	9:30	天気データ		77/189	4	DAT	2	Σ
97/06/25	-	9:30	10:00	期のダウンロ	N-1	72411	3	CA	7	Σ
	1	10:00	10:30	臨時ダウンロ	기	77/110	9	_ ე ე	3	Σ
	-	11:00	11:30	天気データ		7911/9	4	DAT	2	Σ

【図35】

【図36】

いかがの

17.M17.

バージル (かい)

名前

番組名

京子和

京孫語館郡

出

子的狠躁

【図34】

	,,	\neg		Γ-	1	ſ.	<u></u>	<u>, </u>	Ė	ſ,	— ശ	ايرر		صر	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		100	112		Γ
女	無	Σ	Σ	M		1	权	长	Σ		段数	£	Σ	対形	整米	Σ	故	数	Σ	Σ
שביאטי	デジジ	2	2	2			.ກະງະກອ	ν. γ. γ.	က	1	1779270	デージョン	7	1719z70	パージョシ	2	OLIVER.	バル・も	7	2
171-127	和	DAT	DAT	DAT			7757.	佑	- no	1	ンプラン	柘	CA	TIPHT.	柘	DAT	TIME	和	CA	DAT
1.12-1-157-1A	√=.√Λ	4	4	4			9.1.0-1. 7.5774	\\.,=\., a.\	9		9-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	/E バー・ハ	3	5-7-12-1- 4-37 MA	/e.ヾ-・ハ	4	9.7.0-1. T 37714	ゲー・ゲー・ハ	9	4
4.4公十	45	27/169	77/169	75/89			1-54-4	名間	7r1k 10		4.0.4	名割	77-(1)	4.4.4	名前	77/189	\$-0.0-k	名前	14/46	7748
7	華智名	天気データ	米をピーク	子便ボーカ	7417		神 名		臨時ダウンロード		海和女		朝のダウンロード	\$ 00 H	新組む	天気データ	400	香蕉石	網のダウンロード	天気データ
が	は日本	9:30	0.30	25:5	25.1		授	終了時刻	10:30		和	終了時刻	00:6	讯	終了時刻	9:30	识	終了時刻	00:6	9:30
M.U	は金銭	2	3 6	3.5	3.=		伝送	三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	10:00		市場	開始時割	8:30	市路	開始時刻	00:6	供送	開始時刻	8:30	9:00
	またま	-	-	- .	-		24.42	**/*/	_	٠,	44,42	14/44	1		***			74244	_	_
	和	36/30/10	57/00/16	67/90//6	97/06/25		#10	2	97/06/25		#	2	97/06/25		E H	97/06/25		n E	97/06/25	97/06/25

【図32】

【図33】

【図37】

(3 8)

(3な)

(aい)

(ない)

(4)(*)

(#C)

(ない)

政権 計画 計画 計画 政権 政権 政権 3

ニュース

18:30

18:00

97/06/25

昼ドラマ

11:00

10:00

97/06/25

(コな)

(4ない)

(a) (a) (b)

(つき)

豪

23:30

21:00

97/06/25

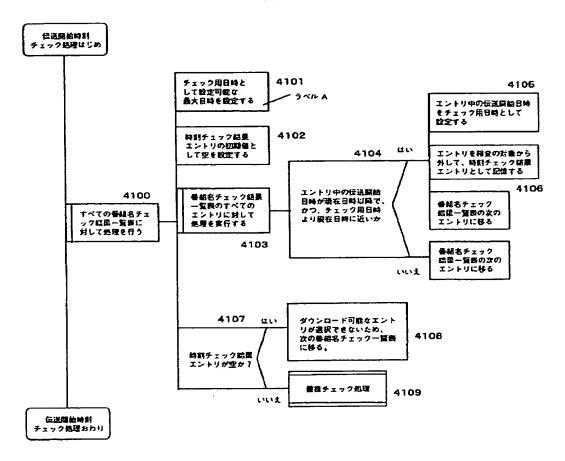
【図38】

4	3	1
	4	43

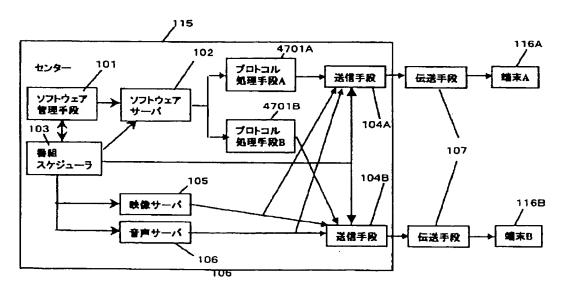
(図52)

THAT COLLARY THE	ハージョン 名 ハージョン 塩末	CA 7 M	DAT 2 M	(ゆり) (ゆり) (ゆり)	(まし) (まし) (まし) (まし)	(ない) (ない) (ない) (ない)	118 119 118 110 122 201	バババ 7,014,1700 対応 7,014,16名 名 バージョン 端末		7 W	υ Ψ
予的張業	名前 A'	75481	77489	で 1 単版 作 ()	2	(2) 医侧侧		 — <u> </u>	治		2 0 5
\$ 00.11	李枫名	オーロベウをの陣	天気データ	소년개 급	ニュース	金	1002 田田 田田 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	事価名 童	1	٧_	- FA 77/117
在法	終了時期	00:6	9:30	11:00	18:30	23:30	1116 1176 1176 1176 1176 1176 1176 1176	#		配のダウンロード	メウンロードA
湖山	開始時期	8:30	9:00	10:00	18:00	21:00		有 数了 郡		8:00	00:6
	きべま	-	_	-	-	-		伝送 開始時刻		7:30	B:00
.;	tr III	97/06/25	97/06/25	97/06/25	97/06/25	97/06/25	12.1 (中央・アップ 金書)	# 1474 B		-	2
<u></u>		L	<u> </u>	I	1	I	j	田付		97/06/25	97/06/25

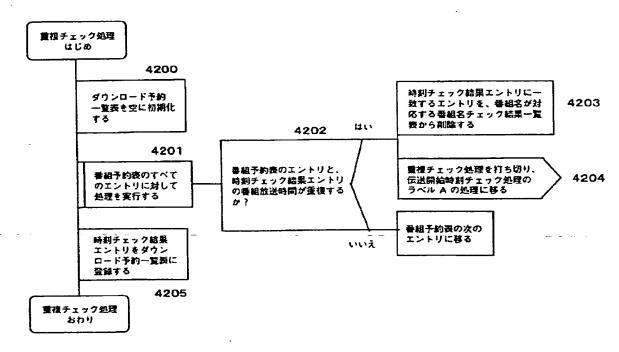
【図41】



【図47】

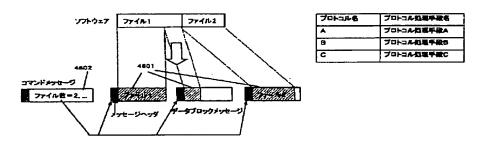


[図42]



【図48】

[図57]



【図51】

日付	チャンネル	伝送 開始時刻	伝送 終了時刻	番組名	構	找要来	ソフトウェア 名	ソフトウェアの	対応	プロ斗名
·					名前	ハージョン				l
97/06/25	1	7:30	8:00	朝のダウンロード	77/61	3	CA	7	М	Α
				•	77145	4	}			ì
97/06/25	2	8:00	9:00	ダウンロードA	77/1/7	2	O S	6	М	С
	ļ				77163	5	1	l	1	

【図65】

经常编辑			
System	2	3	67.67.01
CA	8	7	07.08.25

【図49】

[図83]

经数	长	Σ	3	Σ	Σ	Σ	Σ	٩	116 (ななな) 120 130 111 112 112 113 113 113 113 113 113 113	女養	Σ
MATAN	パージョグ	. 7	,	7	7	2	3	9	116 (16年) (17年)	ΟΣΣ (17) 'E'\'-'N	2
ኒፓሶሳርኒ	华	CA	+	NA U	∀ O	DAT	901	so		1714TY \$	DAT
構成要素	′Ε'√-'Λ	6	4	4	W 4	4	9	5	118	4)47.8. √E'√-'N	4
養政	名前	79/61	77(65	171189	7455	77/169	774110	75167	(17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17)	\$*かのト・するファイル 名前 ハ・ジ・ョ	77449
i i	香組石	越のダウンロード		大州ナーダ	観のダウンロード	天気データ	臨時ダウンロード	ダウンロードA	(日本) 101 (日本) 108 (華智名	天気データ
選手	終了時刻	8:00		8:30	00:6	9:30	10:00	9:00	116 102 1/21-727-7-16 105 105 105 106 106	市市市	H
田田	国体の対	7:30		8:00	8:30	9:00	9:30	8:00		開放所	9:00
	きべた	-		-	_	-	-	2	4:29-101 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	44744	-
	te ou	97 /08 /25	2 (20 (10	97/06/25	97/08/25	97/06/25	97/06/25	97/06/25	はい9 103 2 2 2 3 3 4 2 3 3 4 3 3 4 3 3 3 3 4 3 3 3 3	日本	97/06/25

【図50】

【図54】

【図55】

		-	-	-									
		養	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	如	6 (終了時刻	は	本語の語		
	7. 卟34名		OFIFT.	7. TIP17	7	構成聚業	春組名		前湖		人会送	#74	l
r												I	
\neg		-		:			***		:	:		:	
-					·5	77(13							
	ပ	Σ	9	s o	2	7417	ダウンロードA	00:6	8:00	2	97/08/25	6	
					(ない)	普声2							
	(3 ts)	() (*)	(つな)	3	(ない)	联接3	おかあさんとボン	9:00	7:00	7	97/06/25	5	
					(n ₽)	7 担復							
	(a t)	(なり)	(つな)	(つな)	(つな)	映像6	朝からニュース	2:00	9:00	2	97/06/25	9	
					7	77/15							
	⋖	×	7	CA	3 .	79(1)	配のダウンロード	8:00	7:30	_	97/06/25	9	
					(ない)	おり							
					(つな)	新育3							
	(つま)	(ない)	(コロ)	(a l)	(a:r)	映像 2	アンボンホード	7:30	7:00	_	97/06/25	100	
_					(なり)	一個個							
	(a c)	(つな)	(つな)	(つず)	(なり)	映像:	ドードニの師	7:00	8:00		97/06/25] <u>e</u>	
_					V7. B.	名前			_				
		製米	ν.'-', π.	如	0			性了時期	加拉時式				
	7.中华名	安农	071617	171/11	無	会の根準	导酵槽	光光	任説	47.44	BA	a.	

	名前 ハ・ジョン) 朝のダウンロード 7-4k1 3 CA 7 M A
清成聚業	۲	6
	名前	14)47
春台名		朝のダウンロード
伝送 終了時刻		8:00
_		
(大) 開始時		7:30
刊本 伝送 伝送 開始時刻 終了時刻		17/06/25 1 7:30

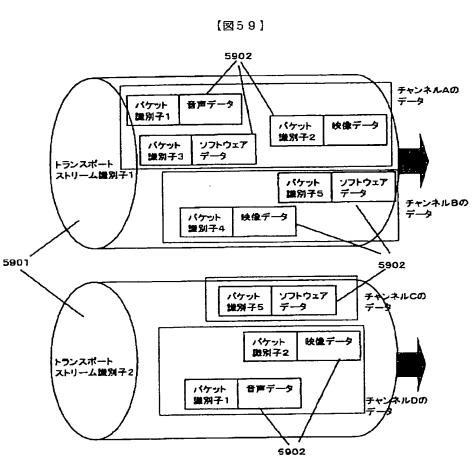
	-	4271 (F.K.	100	### K			77/01/4	171/178 171/170	35	方台に	世紀六古、
-	<u>.</u>	ななな	株了時期	1				\\.'⊒\.	被	邻	年間のなぶ
					名類	N-7.3					7.00小名
97/06/25	_	90:9	7:00	間のニュース	原律 1	(ゆり)	(1⊅)	(つな)	(ゆい)	(つき)	(ない)
					一氢作	(かい)					
97/06/25	_	7:00	7:30	カンギンキード	晚俸2	(つな)	(つむ)	(つま)	(つま)	(၁ ဗ)	(3 th
					E製作	(ない)					
					10年	(ない)	-				
97/06/28	_	7:30	8:00	19 0	12/18 1	3	CA	7	×	(はい)	(カな)
				メウンロード	77/16	4					
97/08/25	2	9:00	7:00	朝からニュース	S S S	(つな)	(つな)	(つず)	(ゆい)	(つき)	(ゆい)
					と 単独	(ない)					
97/08/25	2	7:00	8:00	おかめなんと	EM (B 3	(ない)	(प २)	(ない)	(すい)	(ない) (ない)	(コキ)
				*	新育2	(1⊉)					
97/06/25	2	8:8	8:6	ダウンロードA	77/167	2	50	9	≥	ပ	() ()
					77163	5					
97/06/25	2	8:6	9:30	· 🏚	7748	3	3.017年	ur)	≥	8	v
	-			ダウンロード			国平優 C				
		:	:								

【図56】

•

[図68]

14246	番組名	名前	変要素 ハーション	ソフトウェア名	ソフトウェブの	対応 端末	7°마コ 名	7° 마コ・処理 手段の対応 7° 마コ・名
2	ザ・ ダウンロード	77148	3	7' 마과处 理手段C	5	М	В	С



【図61】

対鍵紀米		Σ		Σ	
パトウェア名 ソフトウェアの ハー・ション		7		9	
ががなる		CA		CA	
構成製業	名前 ハージョン	3	4	2	4
構成	名前	79461	77/185	77481	77485
春組名		(4)	ダウンロード		ダウンロード
伝送校了時期		8:00		13:30	
たな 伝送 配給時刻		7:30		12:30 13:30	
47/4		_		-	
		97/06/25		97/06/25	

受信 平	R	6106
		元章章章中 二
72-	6101 6102 パケット 会出手段	61Q3 ・ 映像アコーダ 6104 ・ 電声デコーダ 6(05 ・ ソフトウェア ・ アコーダ

7.77		
1	刺のニュース	10%
1	ピンポンキーズ	40%
2	おかあさんとポン	5%

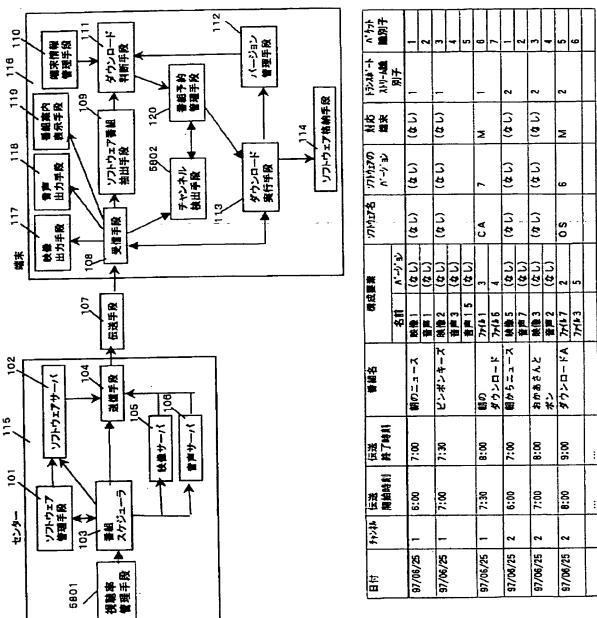
[図62]

【図72】

200 C			
System	2	3	87,05,01 12:00
CA	6	7	97.04.20 7:45
CA	7	6	97.06.25 12:45

(図58)

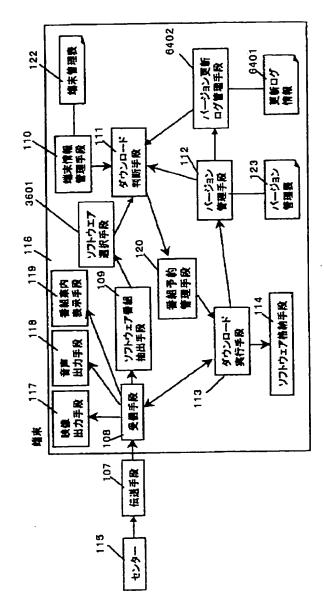




(図63)

#0	367.45	元	养些	春如火	報酬任意	報	071917 \$ TIPLE	OLTHU.	# SE	1 \$7.74	1.42h
2			#7mg] !				v√. 3;	数米	#1-[·4K	十四個
					811	١٠٠٠١				出于	
97/08/75	_	9:00	8:2	間のニュース	表 一	(\$ L)	(4 t)	(৭ঞ)	(つま)	_	_
- - - 					一低悔	(\$ L)					2
97/06/25	-	7:00	7:30	アンボンキード	联位2	(a L)	(なり)	(a c)	(a C)	_	9
:					の個権	(ar)					4
					5一個作	(ない)					2
97/08/25	-	7:30	8:00	611	761	3	CA	7	¥	_	9
				ダウンロード	77/15	4					7
97/06/25	2	9:9	7:00	日からニュース	FAR 5	(つな)	(なり)	(d C)	(なり)	2	_
	ı				/ 知個	(つな)					7
97/06/75	2	7:00	9:00	おかあさんと	强信3	(ない)	(ない)	(ない)	(ない)	2	
	ı			米	音声 2	(つな)					-
97/08/25	2	8:00	9:00	ダウンロードA	7467	2	S O	တ	Z	~	ء
	<u> </u>				77/13	S					و
97/06/25	-	7:8	7:30	サ・ダウンロー	54)46	1	System	6	Σ	_	-
				¥	77/88	2					7
					:	•••	•••			:	:

(図64)



【図66】

【図71】

[図76]

[図82]

日付	まなま	派	京城	事結ら	重成	重成服務	7717178	7719170	200
		製造の発	性了時刻					/E・/ ,v	養
					名前	パージョン			
97/06/25	_	00:9	7:00	朝のニュース	张 一	(ない)	(ない)	(14)	(コな)
	_				一個個	(ゆい)			
97/06/25	-	7:00	7:30	アンギンキーズ	IAM 2	(ない)	(つな)	(かい)	(つな)
					8 紅旗	(つな)			
					4 1 1 2	(つ な)			
97/06/25	-	7:30	8:00	E	14/46	3	CA	7	×
				ダウンロード	34/46	Þ			
97/08/25	-	12:30	13:30	量の	14146	2	CA	9	Σ
				ダウンロード	34/42	4			
97/06/25	2	00:9	7:00	朝からニュース	映像 5	(つず)	(かい)	(d C)	() () () ()
					1 星年	(ac)			
97/06/25	2	7:00	8:00	おかあさんと	联(表 3	(つま)	(つな)	(つま)	(なり)
				光	香声2	(つゆ)			
97/06/25	2	9:00	0:6 0:6	ダウンロードA	74/47	2	0.8	9	Σ
					77-(1) 3	2			
97/06/25	3	7:00	7:30	サ・ダウンロー	77485	2	System	ന	Σ
				×	72148	r.			
			•••		:	:		:	:

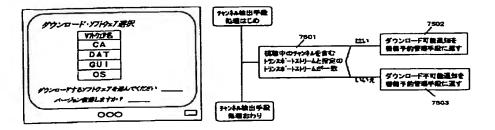
		英世界国	# # F # F # F # F # F # F # F # F # F #	は一番一番	ř	集 数 近	Ē			 p	₹.√-,v	接
				-			名前	ζΕ.ζ-,V	<u>۷</u>			
97/06/25		12:30	13:30	8	6		77/11	2	CA		ę.	Σ
					ダウンロード	지 - 대						
はは、	16 (宏建	- T	伝送	事部の	\$	哲	美成製業	7779.7名	071917C			1.4.1
	E		2000年 100年 100年 100年 100年 100年 100年 100年						·E · '- 'N	養米	λγ.j−4 #	上記載
			-			名前	名前 ハージョン				雅士	
97/06/25 3	2:8		7:30	* *	・フロー	77/45	2	System	3	Z	-	1.
				<u>ب</u>	77/16	77/48	5	-				1.2

17 0		報当	伝送	A CO	中	的要素	TrbAce	•	松女
n n	14/42	記念時期	終了時刻	= 184 €	名前	ゲージョン	华	バージョン	蘇沃
97/06/25	-	00:6	10:00	朝のワイド ショー	吸像 4 由 由 由 由 由	(つむ)	(カロ)	(つ幸)	(コな)

【図93】



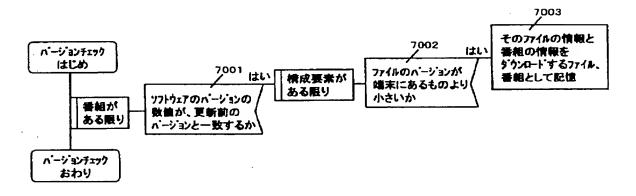
【図75】



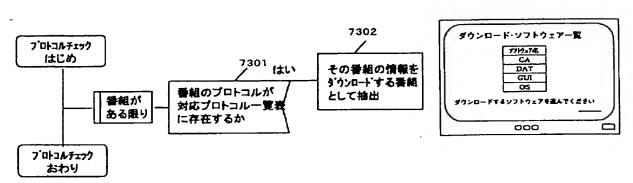
【図69】

ソフトウェア名	CA		o s		DSMCC	<u> </u>
ハージョン	7		6		5	
横成要素	ファイル名	ハージョン	75/6名	ハージョン	アゲル名	ハ・ーシ・ョン
	7717-1	3	ファイルフ	2	77-(1-1-0	5
	77115	4	77/1/3	5	771812	3
			· .	1	771820	1 9

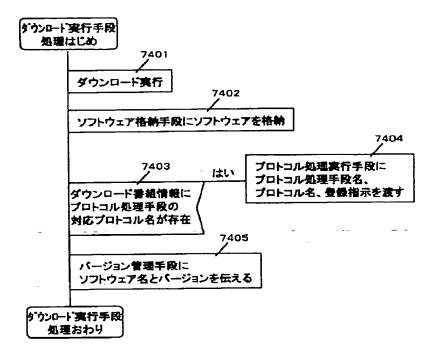
[図70]



【図73】



[図74]



【図77】

チャンネム	番組名	構成	要素	ソフトウェア名	ソフトウェアの パーヴ・ョン	対応 強末	トランス本*ート ストリーム開放	ハ・ケット 世別子
		名詞	パージョン				別子	
3	ザ・ダウンロー	77145	2	System	3	M	1	1.1
	k	77148	5		1			1 2

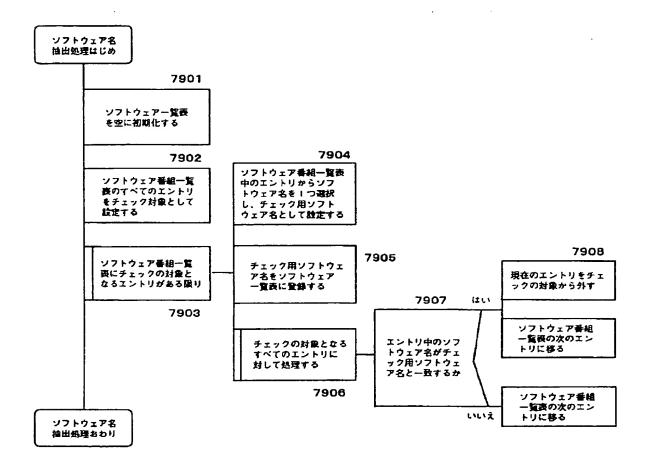
【図78】

チャンネル	番組名	44.	2要素	ソフトウェア 名	ソフトウェアのハー・ゲョン		プロン名
•		名的	^ ージョン	1			
1	朝のダウンロード	77/81	1 3	CA	7	М	Α

【図91】

34274	組名	\$°170-1°	するファイル	ソフトウェア	ソフトウェアの
		名前	パージョシ	名	ハーション
1	朝のダウンロード	77111	3	CA	7

【図79】

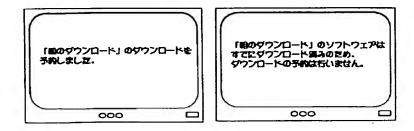


【図92】

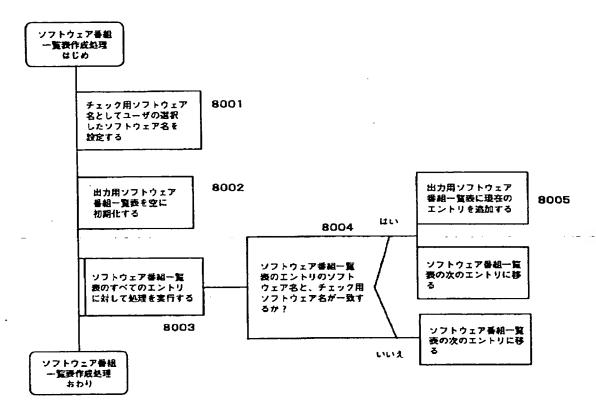
チャンネル	番組名	ターウンロート	するファイル	カトウュア	ソフトウェアの	ቃ ሳ/ሀ- ት
		名前	パージョン	名	パジシ	終了連絡 757
1	朝のダウンロード	77/41	3	CA	7	要

【図98】

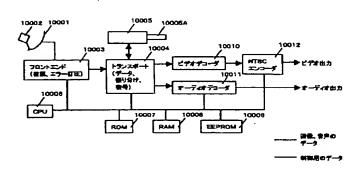
【図99】

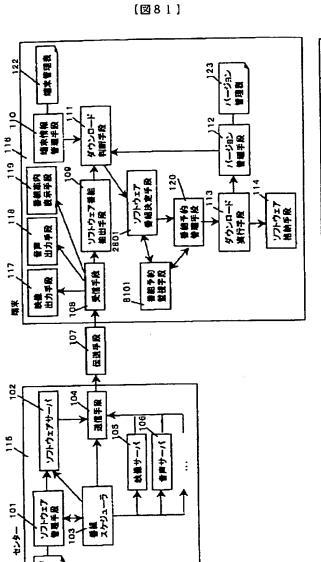


【図80】



【図100】





	(図	8 4	}			(図 8	3 5]	(<u>B</u>	3 8	6]
な来る	Σ	≱	Σ	2	Σ	Σ	なな	长银	Σ	Σ	松女	養	Σ
ውኒሳብ ነጉትታን	7	2	7	7	2	2	WHOMAS	ゾー・ジョン	7	2	<i>ነ</i> ጋኑሳ <u>ነ</u> ታው	パージョグ	2
ነ <u>ንነ</u> ሳኒን ቆ	CA	DAT	CA	V V	GU	DAT	TIME	佑	CA	DAT	TOPOTO.	名	DAT
タ・ウンロードするファイル 名前 バージョン	3	4	6	3	9	4	8-17-A-1-4-877/4	ゾーゾョン	3	4	9-5-0-1-4-5-7-4-1-17-19-17-19-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-	パージョン	4
4.02-1.	75161	7469	7481	77/16-1	77/10	77489	\$.72下	名前	74/11	77/89	4.474.6	名前	17/149
手組名	朝のダウンロード	天気データ	朝のダウンロード	糖のダウンロード	臨時ダウンロード	天気データ	M 40 &	香組石	朝のダウンロード	天気データ	40年	一个	天気データ
市工時期	8:00	8:30	9:00	10:00	10:30	11:30	和新	は一年	00:6	11:30	伝送	性了時刻	11:30
有 語 語 的 形 型	7:30	8:00	8:30	9:30	10:00	11:00	信送	調査の対	8:30	11:00	市	英生安里	11:00
#7#	-	-	-	-	-	-		きなよ	_	-		***	-
日本	97/06/25	97/06/25	97/06/25	97/06/25	97/08/25	97/06/25		<u>*</u>	97/08/25	97/06/25			97/06/25

【図87】

[図88]

[図94]

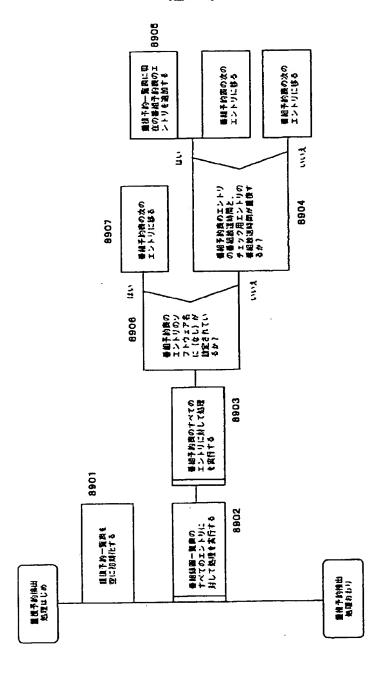
(図96) 【図97]

[]		伝統	湖市	H 40 &	光	予約要素	Tither	שיבולארני קבולארני	投权
	\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	題の日本	整了時刻	4000	名前	パージョン	*	パージョン	长
97/06/25	-	8:30	9:00	絹のダウンロード	77/41	3	CA	7	≥
97/06/25	-	10:00	11:00	早ドラマ	天 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(つな)	(カカ)	(ない)	(カカ)
97/06/25	-	18:00	18:30	Z-==	映像 2 音声2	(ゆり)	(つな)	(ない) (ない) (ない)	(つま)
97/06/25	-	21:00	23:30	设置	映像3 音声3	(つな)	(ゆり)	(ない) (ない)	(ゆい)

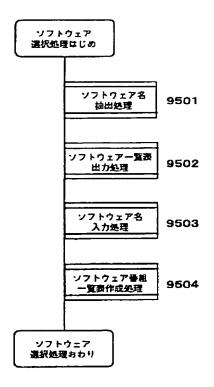
H付 沖沖 開始時期 株丁屋 97/06/25 1 8:30 9:00 97/06/25 1 9:00 10:00 97/06/25 1 10:00 11:00 97/06/25 1 11:00 11:30 97/06/25 1 18:30 18:30		A.40.0		を表が	ACACC.	SALAS	Q EX
1 8:30 1 9:00 1 10:00 1 11:00	表了時差	斯 拉	名前	パージョン	40	N'-'y³ÿ	塞米
1 9:00 1 10:00 1 11:00 1 18:00	8:0	朝のダウンロード	14746	က	CA	7	₹
1 10:00	10:00	朝のワイドショー	現像なから	(ゆい)	(ゆい)	(ない)	(カな)
1 11:00	11:00	星ドラマ	一種を	(つな)	(つま)	(ない)	(なり)
1 18:00	11:30	天気データ	77/119	4	DAT	2	₹
	18:30	ニュース	映像 2 音声 2	(カロ)	(なし)	(ゆい)	(৭ ৯)
97/06/25 1 21:00 23:30	23:30	晚画	吸憶3 歯内3	(つな)	(ゆり)	(1年) (1年)	(つま)

田	47.11	伝送	伝送	事部名	選び	独成歌樂	11914	WHY WHYTH ME	対応	THU.
		子で変数	本一部金		名敵	√. a∵	钟	パープ呼	基米	78.80 18.00
97/06/25	2	9:00	9:00	ダウンロードA	21146	7	80	9	۵	5.X F. A.T. 1)
					37/13 5	S				1-1/3/
中田	44744	市場	京	奉命名	華	構成聚業	171917	07161TY	数数	71. T.
		変な変化	作了時刻		名前	/E /1V		'E'.''ν \$		(6)
97/06/25	-	7:30	8:30	息のダウンロード	77/41	3	CA	7	2	11.64.1-1
					77485	1				ケーション

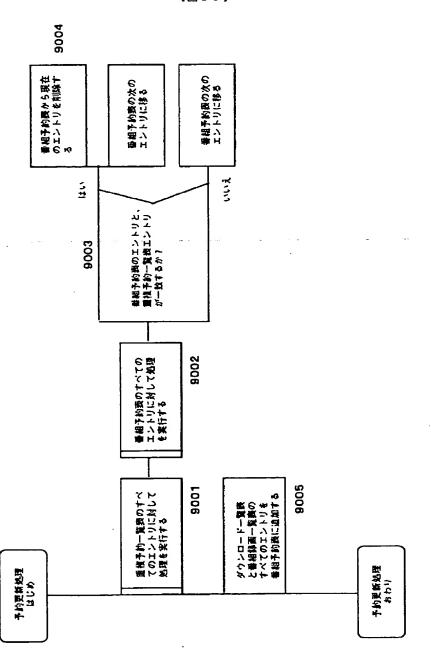
【図89】



(図95)



【図90】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.*

識別記号

FΙ

H 0 4 N 7/173

H 0 4 Q 9/00

301

H04L 11/18

(55)

(72)発明者 篠原 弘樹 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内

(72)発明者 引田 啓之 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内

This Page Blank (uspto)